

北陸の米生産を知る

平成の米

福井県

From 1989
to 2018

北陸農政局統計部



福井県坂井市

北陸農政局ホームページ中の統計情報に掲載しています。

【<https://www.maff.go.jp/hokuriku/stat/>】

令和2年8月

農林水産省

概要編

1	水稻収穫量の推移（福井県）	1
2	水稻の作柄概況（福井県）	2
3	農林業センサスにおける過去1年間に稲を作った田のある 農業経営体数と作付面積規模別割合（福井県）	32
4-1	米の経済状況（生産コストと収益）の推移（福井県）	33
4-2	米の経済状況（作付面積規模別の生産コストと収益） の比較（全国）	34
5	米の産出額の推移（福井県）	35

作柄表示地帯とは、地域行政上必要な水稻の作柄を表示する区域として、県内を水稻の生産力（地形、気象、栽培品種等）により分割したものである。

作柄表示区分		所属する県及び市町村名（令和2年3月31日現在）
全国農業地域	北陸	新潟県、富山県、石川県、福井県
区分	作柄表示地帯	包 括 市 町 村
福井県内の水稻の作柄表示地帯	嶺北	福井市、大野市、勝山市、鯖江市、あわら市、越前市、坂井市、永平寺町、池田町、南越前町、越前町
	嶺南	敦賀市、小浜市、美浜町、高浜町、おおい町、若狭町

用語の解説

田植最盛期、出穂最盛期及び刈取最盛期

田植え、出穂済みの面積割合及び刈取済面積割合がそれぞれ50%に達した期日である。

作柄の表示区分

「良」が平年対比106%以上、「やや良」が同105～102%、「平年並み」が同101～99%、「やや不良」が同98～95%、「不良」が同94%以下である。

「穂数の多少」、「1穂当たりもみ数の多少」、「全もみ数の多少」、「登熟の良否」に用いた表示区分

「多い（良）」が平年対比106%以上、「やや多い（やや良）」が同105～102%、「平年並み」が同101～99%、「やや少ない（やや不良）」が同98～95%、「少ない（不良）」が同94%以下である。

作況指数

作柄の良否を表す指標のことをいい、10a当たり平年収量に対する10a当たり収量（又は予想収量）の比率をいう。
 なお、平成26年産以前の作況指数は1.70mmのふるい目幅で選別された玄米を基に算出していたが、平成27年産からは全国農業地域ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、大きいものから数えて9割を占めるまでの目幅（北陸は1.85mm）以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

全算入生産費
 （資本利子・地代全額算入生産費）

米の生産に要した材料、土地改良及び水利費、賃借料及び料金、物件税及び公課諸負担、固定資産の減価償却費、労働費の費用合計から副産物価額を控除し、支払利子、支払地代、自己資本利子及び自作地地代を加算した額である。

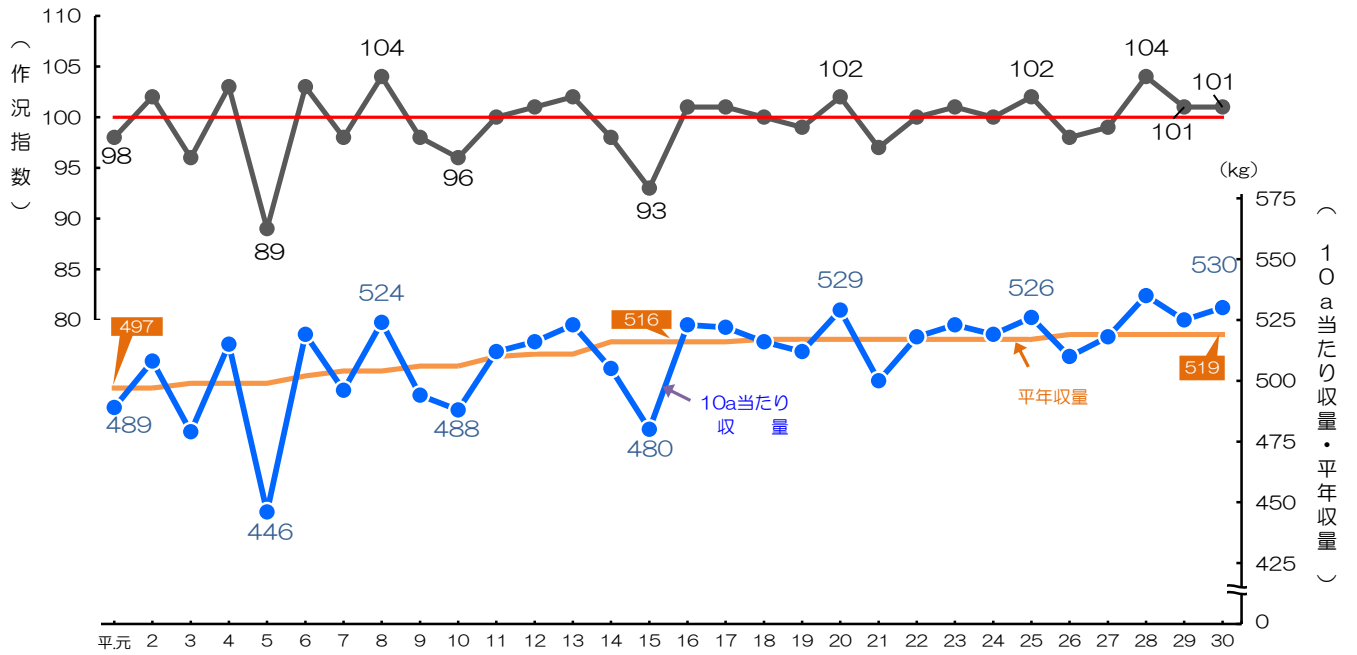
【参考】福井県市町村区分図



1 水稲収穫量の推移(福井県)

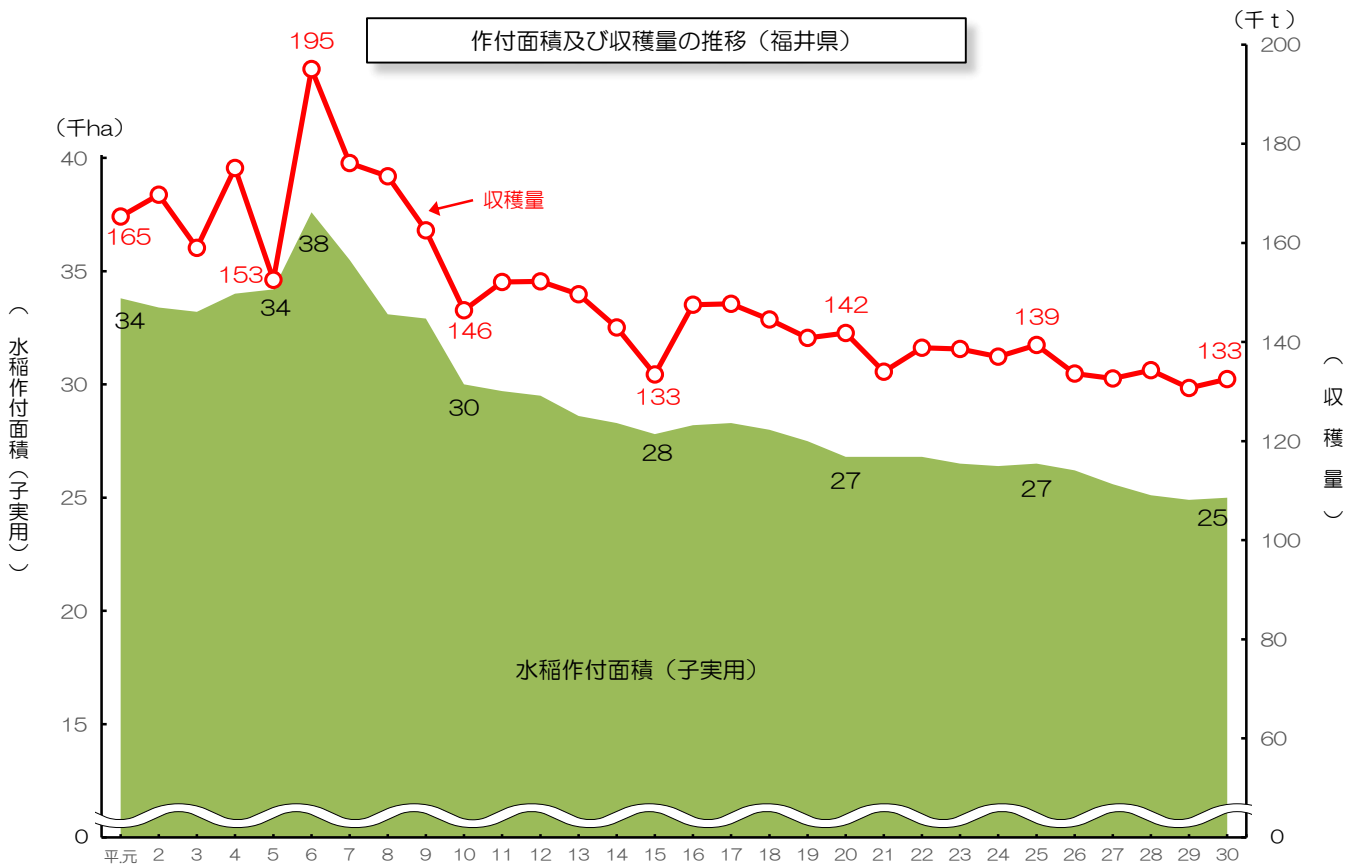
平成元年産からの水稲生産の推移

作況指数、10a当たり収量及び平年収量の推移(福井県)



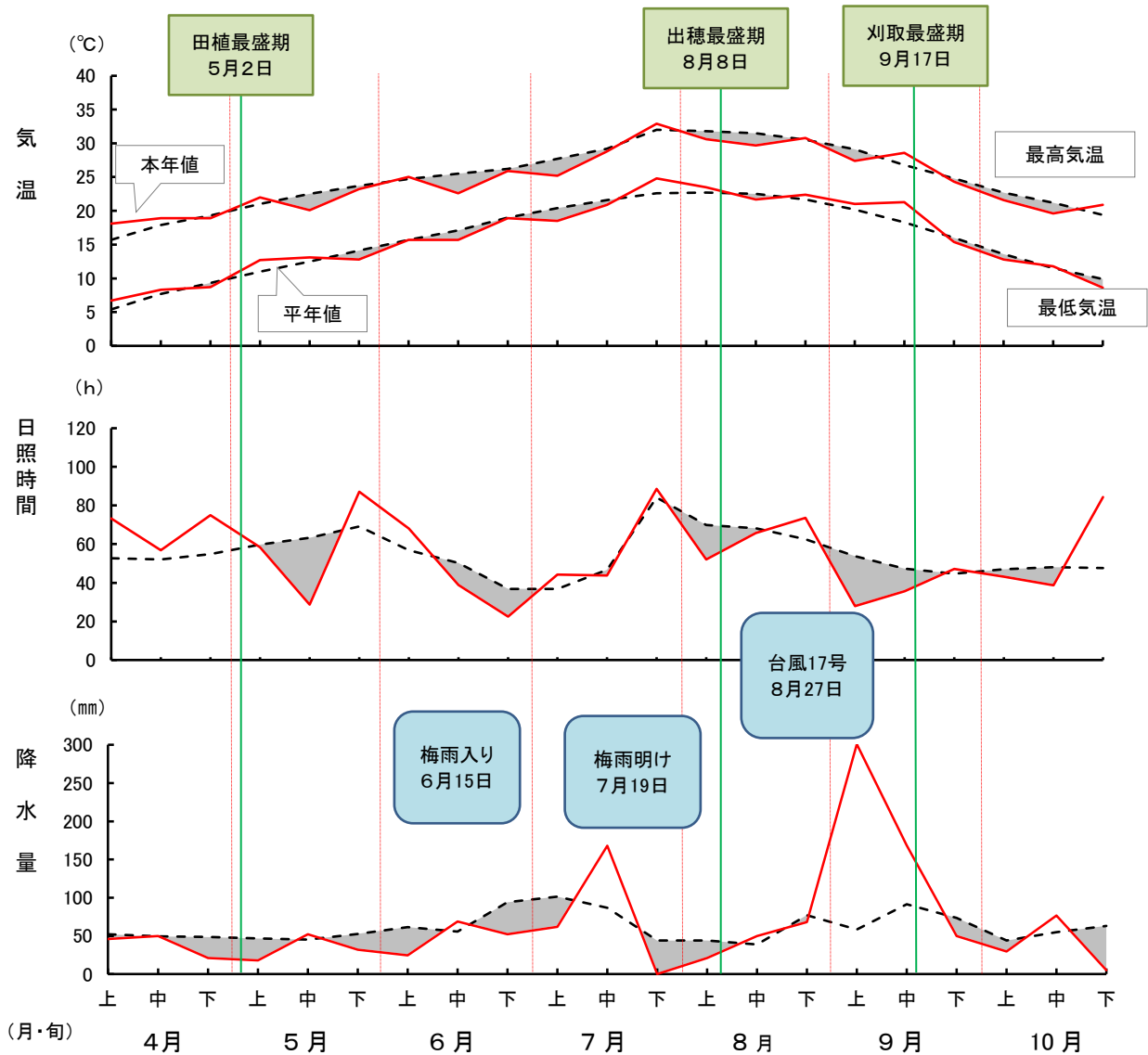
注：平成27年産から農家等が使用しているふるい目幅ベースの作況指数となった。

作付面積及び収穫量の推移(福井県)



資料：農林水産省「作物統計」

気象図 福井地方気象台(福井観測点)



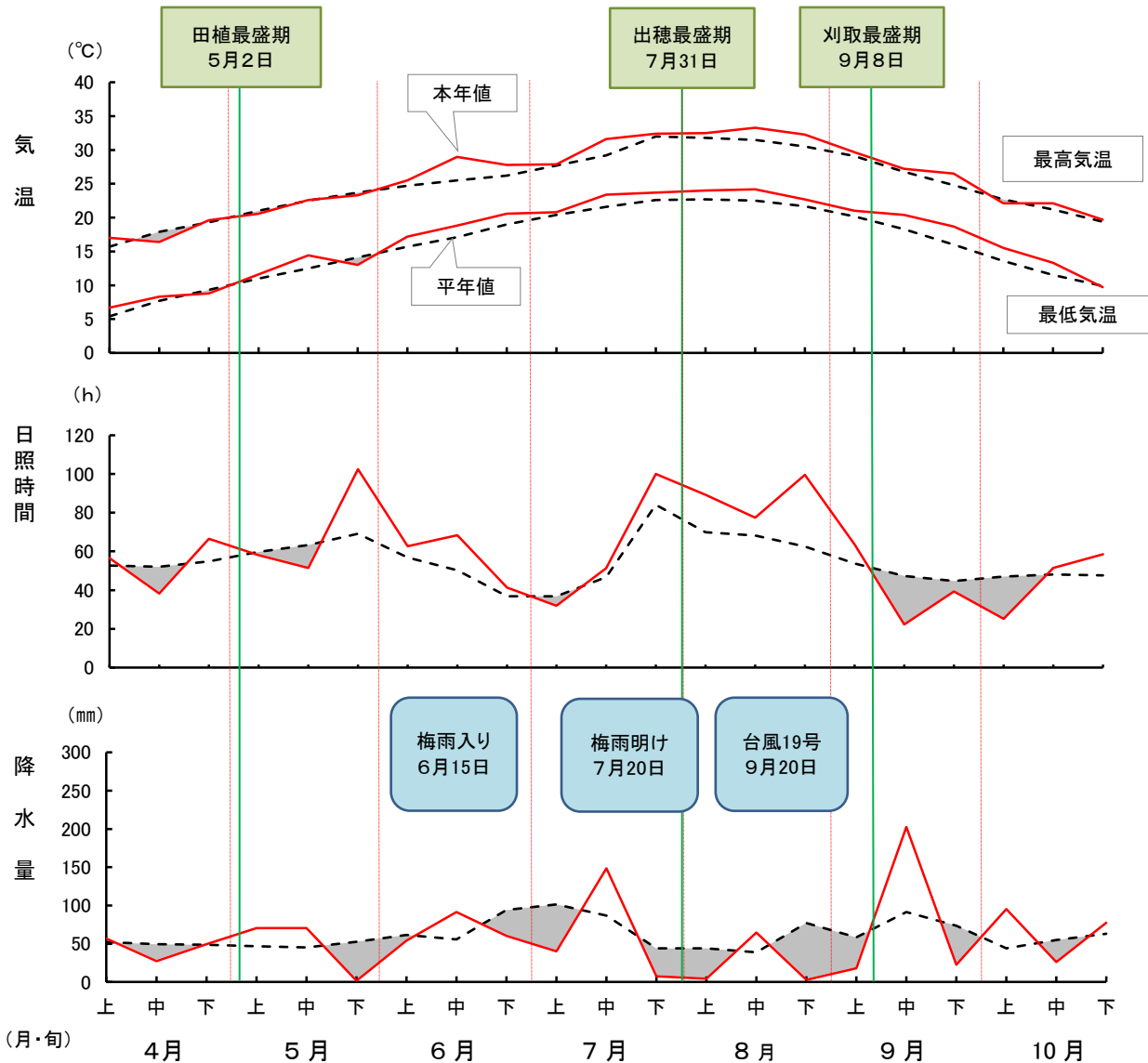
指 標	作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	政府買入価格 (60kg当たり)単価
	ha	kg	t	円
福井	33,800	489	165,300	16,743
嶺北	28,300	498	140,900	
嶺南	5,450	448	24,400	

注: 政府買入価格(生産者手取価格)は、うち1～5類・1～2等の平均包装込価格である。

作況指数	8月15日	9月15日	10月15日	収穫期
	福井	101	100	98
嶺北	101	100	98	98
嶺南	101	100	98	98

作柄概況	1㎡当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1㎡当たり全もみ数	登熟
	福井	やや少ない	やや多い	平年並み
穂数は5月中旬及び6月中・下旬の低温・日照不足によりやや少なくなったものの、1穂当たりもみ数がやや多くなったことから、全もみ数は平年並みとなった。 登熟は平年並みとなり、作柄は作況指数98となった。				

気象図 福井地方気象台(福井観測点)



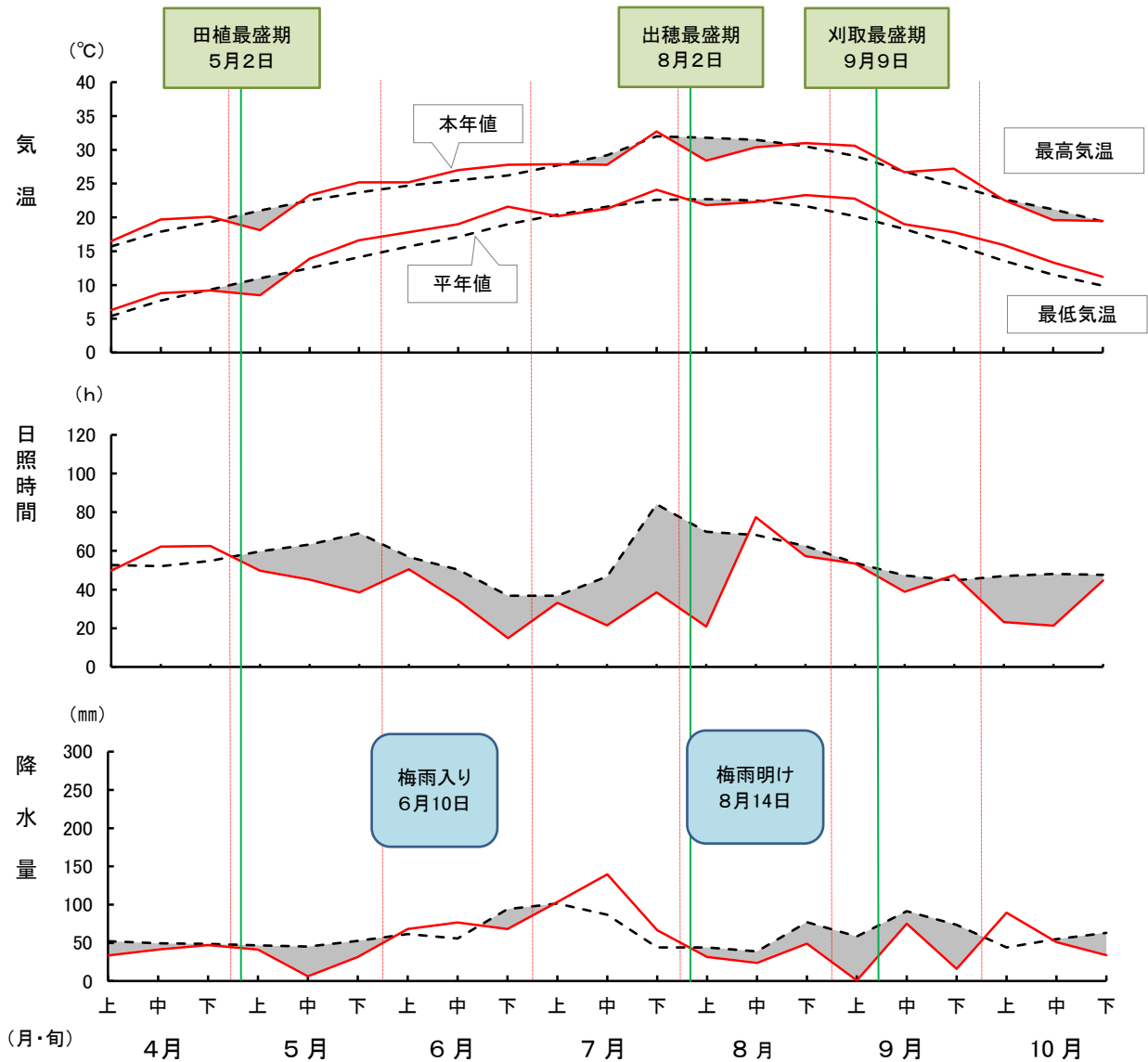
指 標		作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	福井コシヒカリ (60kg当たり)単価
		ha	kg	t	円
福井	福井	33,400	508	169,700	22,477
	嶺北	28,000	517	144,800	
	嶺南	5,370	461	24,800	

注: 福井コシヒカリの価格は、銘柄別落札加重平均価格(指標価格)である。

作況指数		8月15日	9月15日	10月15日	収穫期
		福井	101	102	102
嶺北	嶺北	101	102	102	102
	嶺南	101	101	101	101

作柄概況		1㎡当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1㎡当たり全もみ数	登熟
		少ない	多い	やや少ない	やや良
福井	福井	穂数は6月の高温により生育が進み分けつ切り上がりが早まりやや少なく、1穂当たりもみ数が多くなったものの、全もみ数はやや少なくなった。 登熟は出穂後の多照によりやや良となったことから、作柄は作況指数102となった。			

気象図 福井地方気象台(福井観測点)



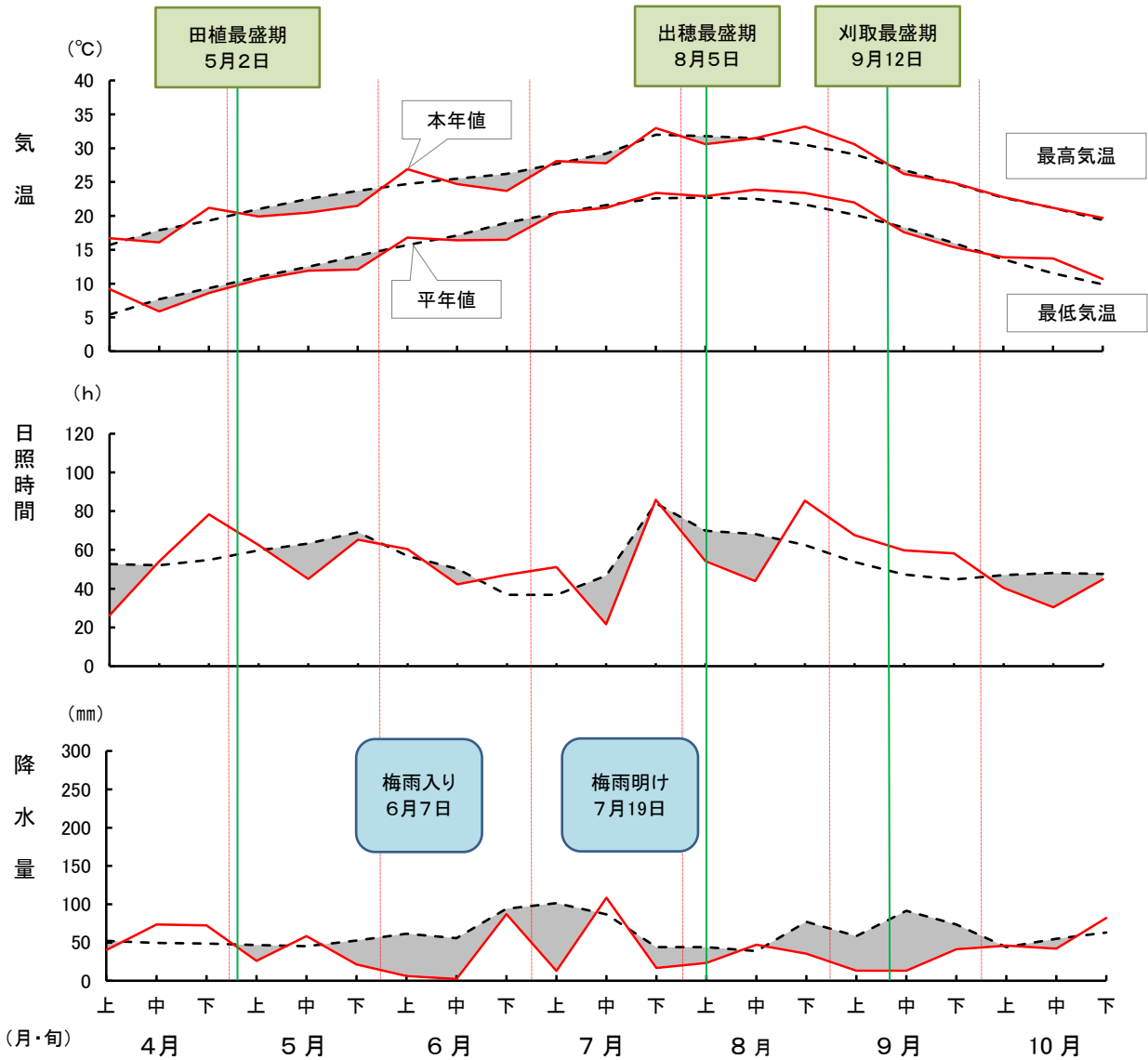
指 標		作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	福井コシヒカリ (60kg当たり)単価
		ha	kg	t	円
福井	福井	33,200	479	159,000	23,204
	嶺北	27,900	485	135,300	
	嶺南	5,310	448	23,800	

注: 福井コシヒカリの価格は、銘柄別落札加重平均価格(指標価格)である。

作況指数		8月15日	9月15日	10月15日	収穫期
		福井	94	96	96
福井	嶺北	94	96	96	96
	嶺南	95	97	98	98

作柄概況	福井	1㎡当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1㎡当たり全もみ数	登熟
		少ない	多い	やや少ない	やや良
穂数は田植期の低温及び田植後の日照不足により少なく、1穂当たりもみ数が多くなったものの、全もみ数はやや少なくなった。 登熟は大幅に遅れた梅雨明けの影響はあったものの、全もみ数がやや少なかったことからやや良となり、作柄は作況指数96となった。					

気象図 福井地方気象台(福井観測点)



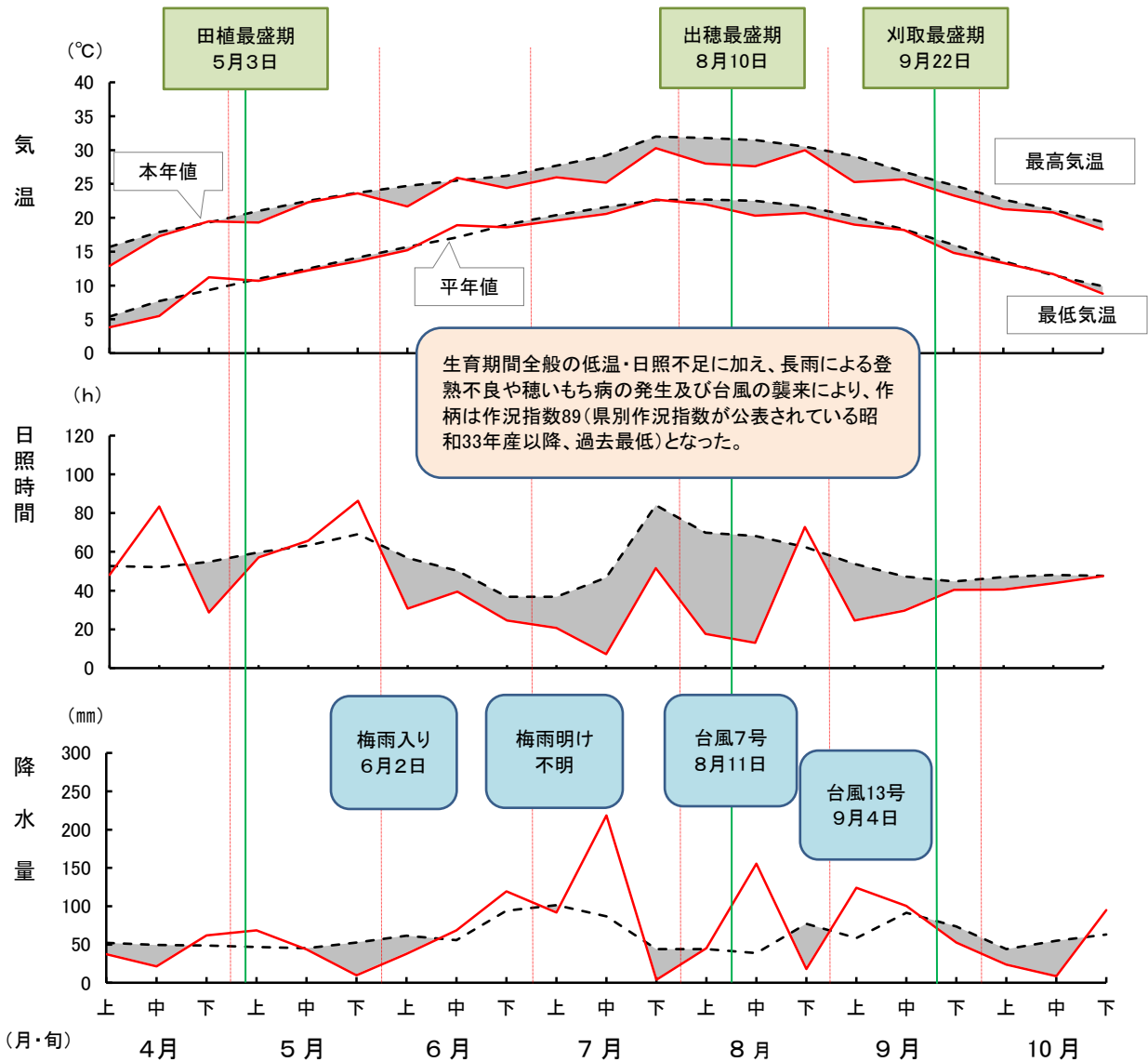
指 標		作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	福井コシヒカリ (60kg当たり)単価
		ha	kg	t	円
福井	福井	34,000	515	175,100	22,312
	嶺北	28,600	523	149,600	
	嶺南	5,420	471	25,500	

注: 福井コシヒカリの価格は、銘柄別落札加重平均価格(指標価格)である。

作況指数		8月15日	9月15日	10月15日	収穫期
		福井	101	103	103
嶺北	101	103	103	103	
嶺南	101	103	103	103	

作柄概況	福井	1㎡当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1㎡当たり全もみ数	登熟
		やや多い	平年並み	やや多い	平年並み
穂数は田植後が低温であったものの、おおむね日照が確保されたことからやや多く、1穂当たりもみ数が平年並みとなったことから、全もみ数はやや多くなった。 登熟は平年並みとなり、作柄は作況指数103となった。					

気象図 福井地方気象台(福井観測点)



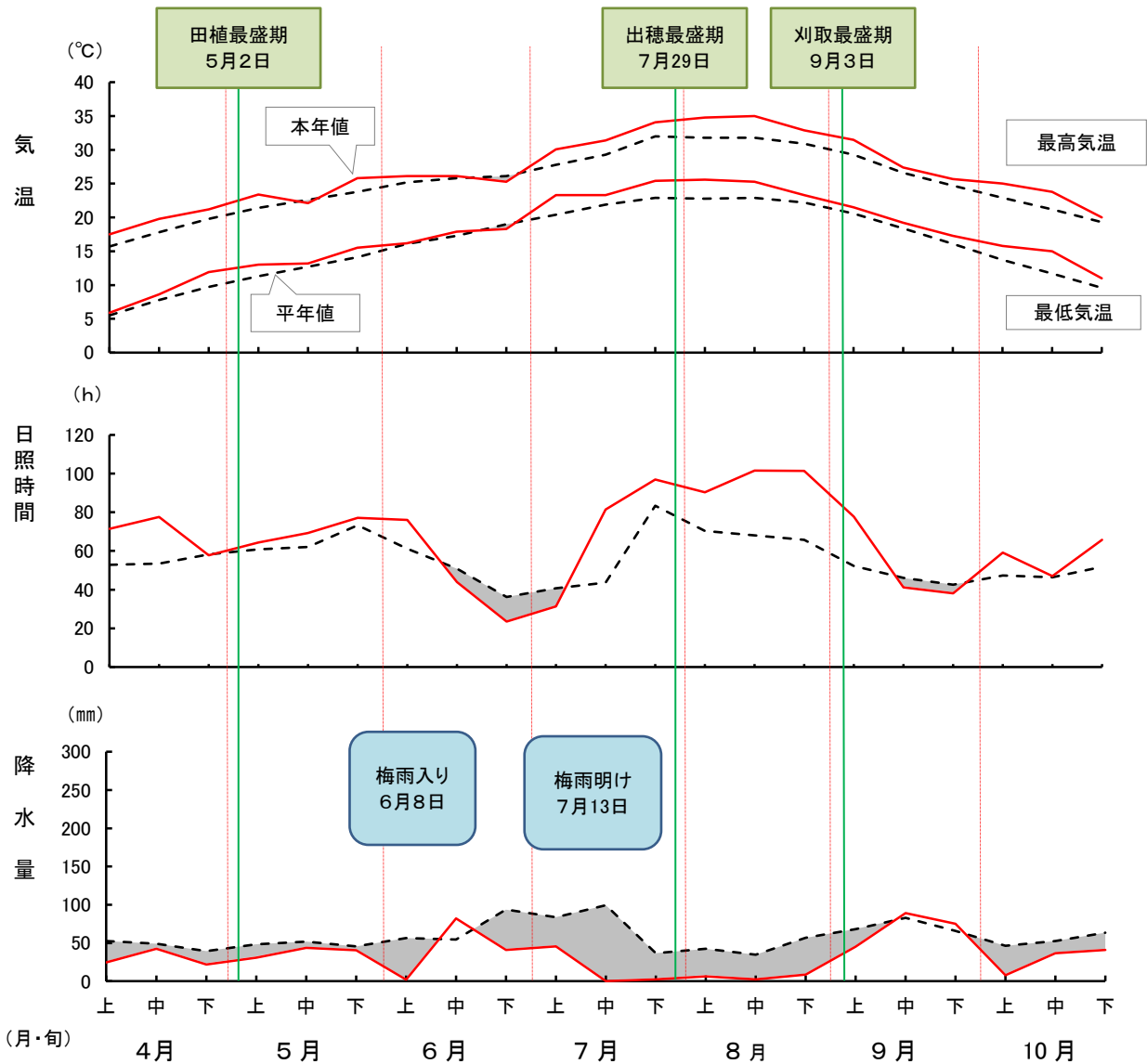
指標	作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	福井コシヒカリ(60kg当たり)単価
	ha	kg	t	円
福井	34,200	446	152,500	23,772
嶺北	28,700	452	129,600	
嶺南	5,510	415	22,900	

注: 福井コシヒカリの価格は、銘柄別落札加重平均価格(指標価格)である。

作況指数	8月15日	9月15日	10月15日	収穫期
福井	96	91	89	89
嶺北	96	91	89	89
嶺南	96	92	90	90

作柄概況	1㎡当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1㎡当たり全もみ数	登熟
福井	やや少ない	平年並み	平年並み	不良
穂数は6月以降の低温・日照不足によりやや少なく、1穂当たりもみ数が平年並みとなったことから、全もみ数は平年並みとなった。 登熟は出穂期の大幅な遅れ、生育期間全般の低温・日照不足、台風による不稔・倒伏被害や穂いもち病の多発により不良となったことから、作柄は作況指数89となった。				

気象図 福井地方気象台(福井観測点)



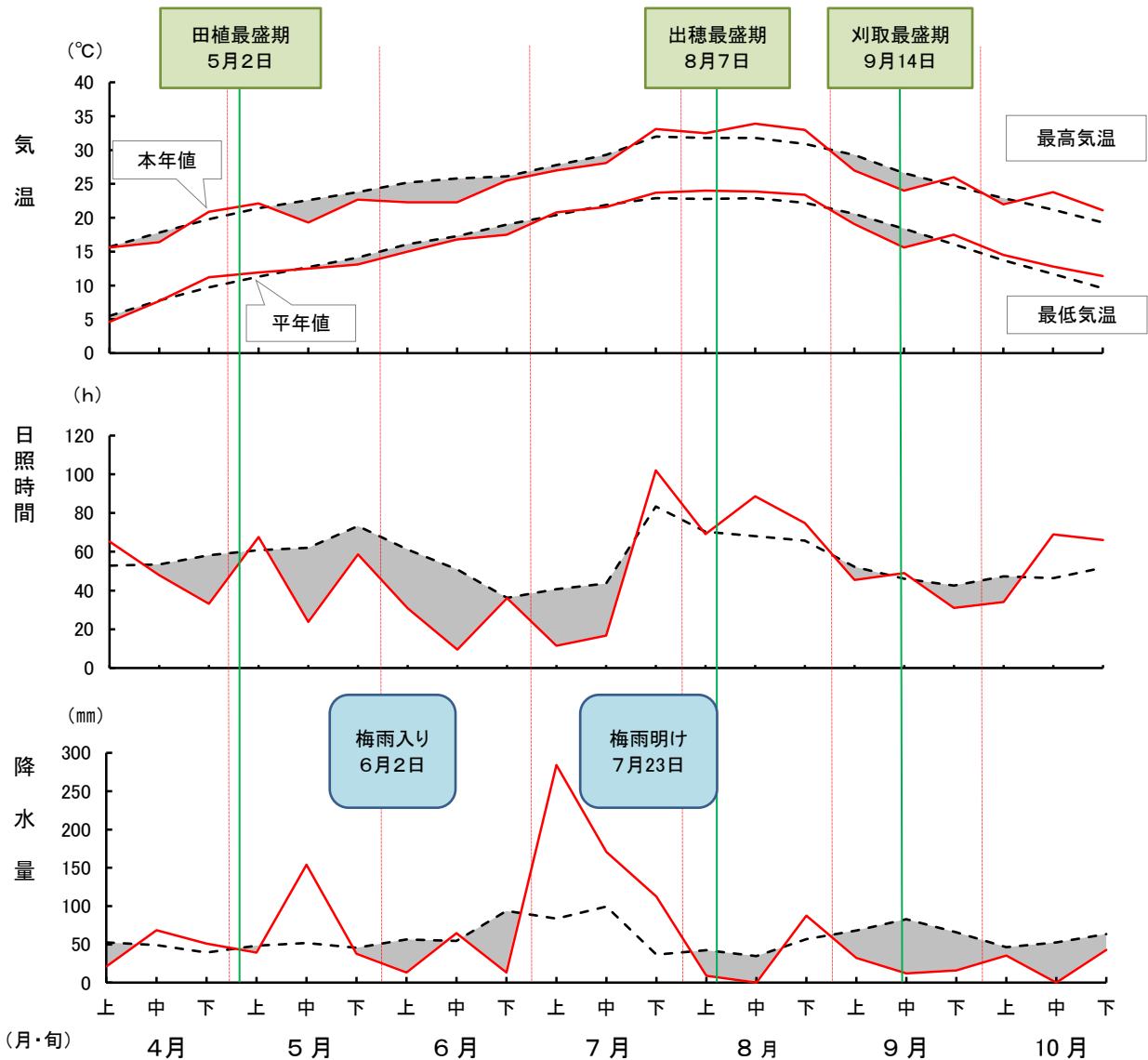
指 標		作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	福井コシヒカリ (60kg当たり)単価
		ha	kg	t	円
福井	福井	37,600	519	195,100	22,083
	嶺北	31,600	529	167,200	
	嶺南	5,920	468	27,700	

注: 福井コシヒカリの価格は、銘柄別落札加重平均価格(指標価格)である。

作況指数		8月15日	9月15日	10月15日	収穫期
		福井	102	103	103
嶺北	嶺北	102	104	104	104
	嶺南	100	100	100	100

作柄概況	福井	1㎡当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1㎡当たり全もみ数	登熟
		やや多い	やや少ない	平年並み	やや良
穂数は田植後の気温が高く、日照が確保されたことからやや多くなったものの、1穂当たりもみ数がやや少なくなったことから、全もみ数は平年並みとなった。 登熟は出穂後が高気温・多照で経過したことからやや良となり、作柄は作況指数103となった。					

気象図 福井地方気象台(福井観測点)



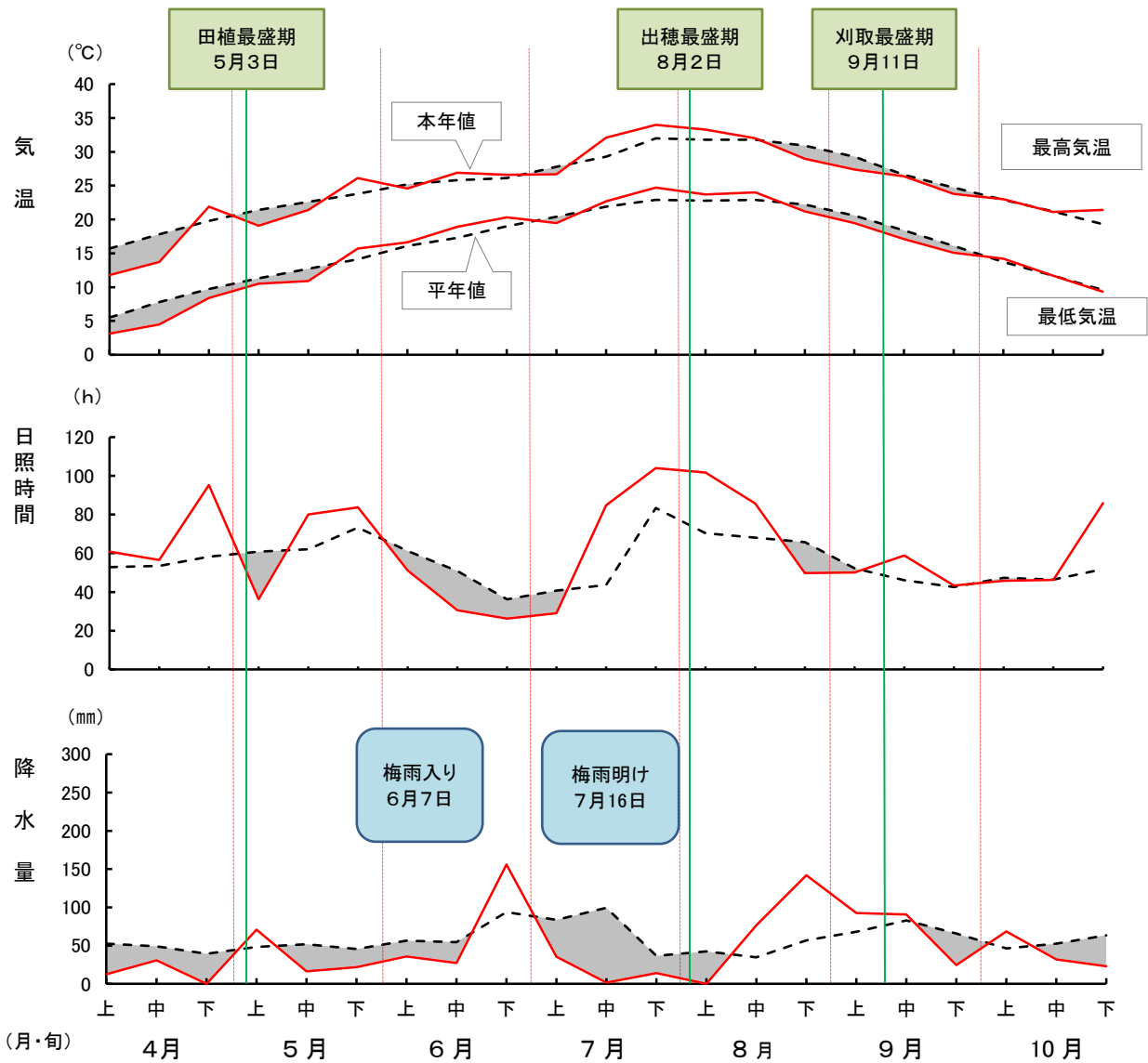
指 標		作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	福井コシヒカリ (60kg当たり)単価
		ha	kg	t	円
福井	福井	35,500	496	176,100	20,763
	嶺北	29,900	502	150,100	
	嶺南	5,610	464	26,000	

注: 福井コシヒカリの価格は、銘柄別落札加重平均価格(指標価格)である。

作況指数		8月15日	9月15日	10月15日	収穫期
		福井	97	98	98
嶺北	97	98	98	98	
嶺南	97	99	99	99	

作柄概況	福井	1㎡当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1㎡当たり全もみ数	登熟
		少ない	やや多い	やや少ない	やや良
穂数は田植後の低温・日照不足により少なく、1穂当たりもみ数がやや多くなったものの、全もみ数はやや少なくなった。 登熟は8月の高温・多照によりやや良となったものの、作柄は作況指数98となった。					

気象図 福井地方気象台(福井観測点)



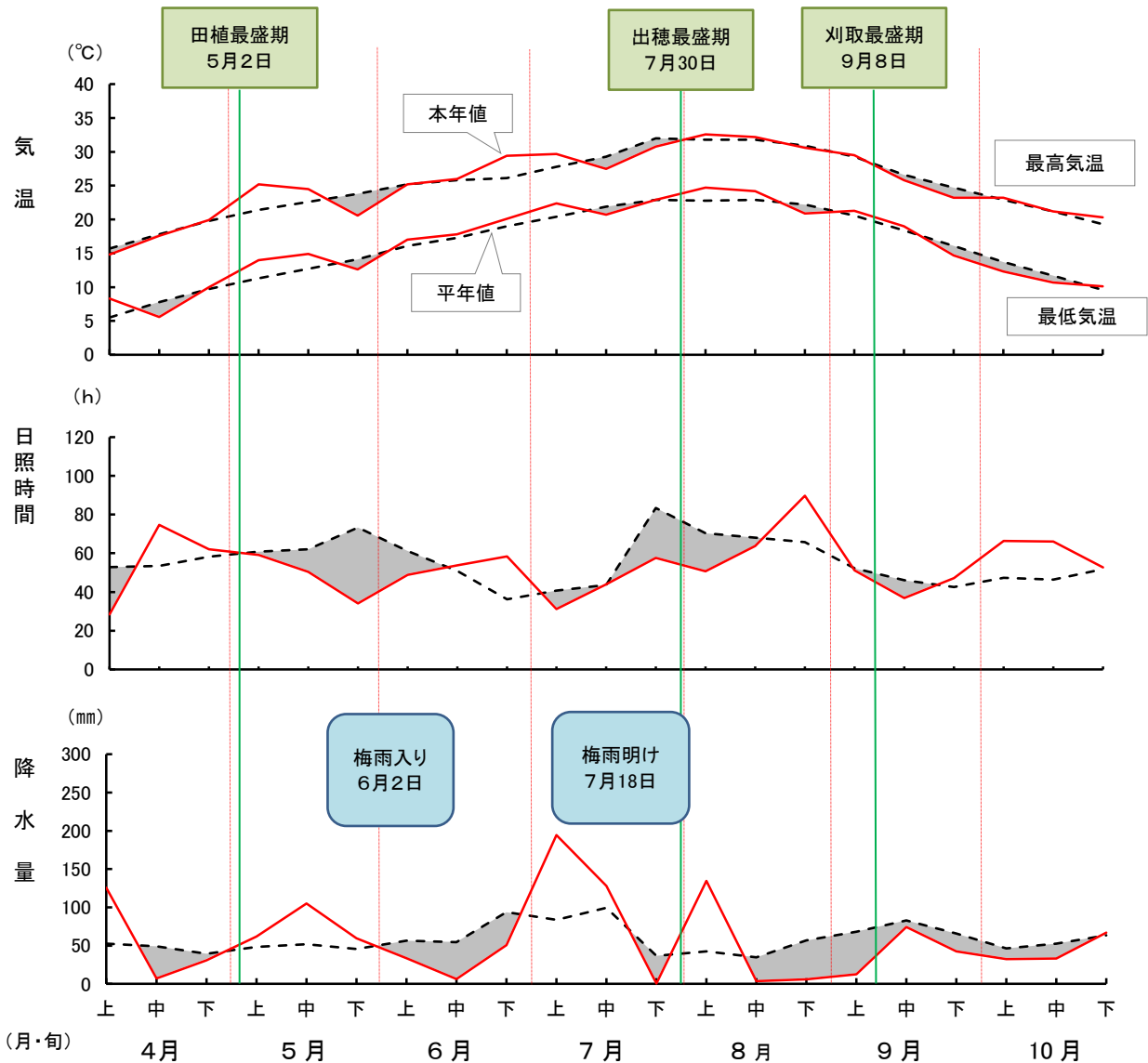
指 標		作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	福井コシヒカリ (60kg当たり)単価
		ha	kg	t	円
福井	福井	33,100	524	173,400	20,305
	嶺北	27,800	532	148,000	
	嶺南	5,300	480	25,400	

注: 福井コシヒカリの価格は、銘柄別落札加重平均価格(指標価格)である。

作況指数		8月15日	9月15日	10月15日	収穫期
		福井	102	104	104
嶺北	嶺北	102	104	104	104
	嶺南	102	102	102	102

作柄概況		1㎡当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1㎡当たり全もみ数	登熟
		福井	平年並み	やや多い	やや多い
穂数は平年並みとなり、1穂当たりもみ数が7月中旬からの高温・多照によりやや多くなったことから、全もみ数はやや多くなった。 登熟は平年並みとなり、作柄は作況指数104となった。					

気象図 福井地方気象台(福井観測点)



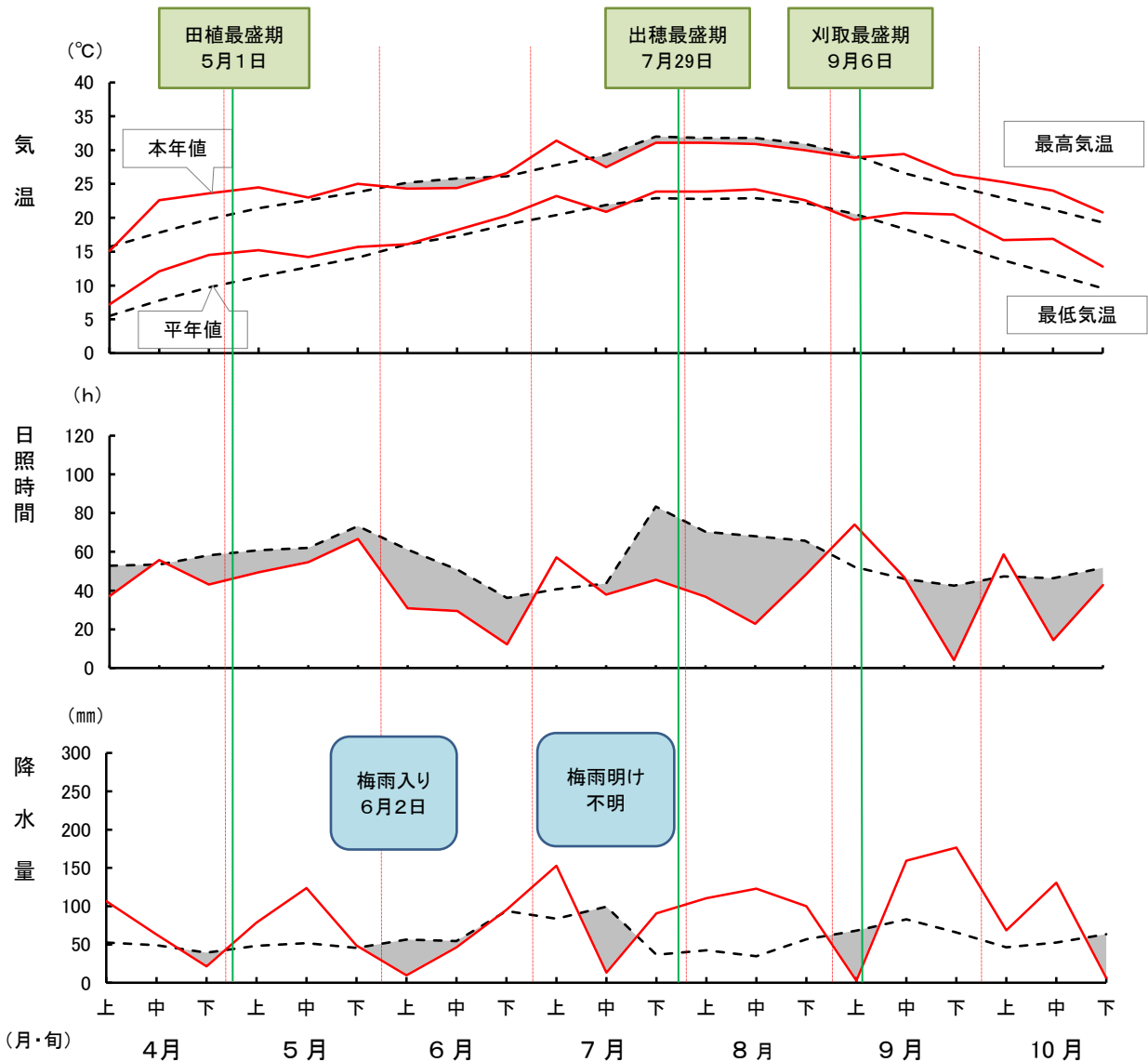
指 標	作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	福井コシヒカリ (60kg当たり)単価
	ha	kg	t	円
福井	32,900	494	162,500	17,838
嶺北	27,600	504	139,100	
嶺南	5,260	444	23,400	

注: 福井コシヒカリの価格は、銘柄別落札加重平均価格(指標価格)である。

作況指数	8月15日	9月15日	10月15日	収穫期
	福井	100	98	98
嶺北	101	99	98	98
嶺南	98	95	93	93

作柄概況	1㎡当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1㎡当たり全もみ数	登熟
	福井	やや多い	やや少ない	平年並み
穂数は田植後5月中旬の高温によりやや多くなったものの、1穂当たりもみ数がやや少なくなったことから、全もみ数は平年並みとなった。 登熟は出穂後の高夜温と日照不足によりやや不良となったことから、作柄は作況指数98となった。				

気象図 福井地方気象台(福井観測点)



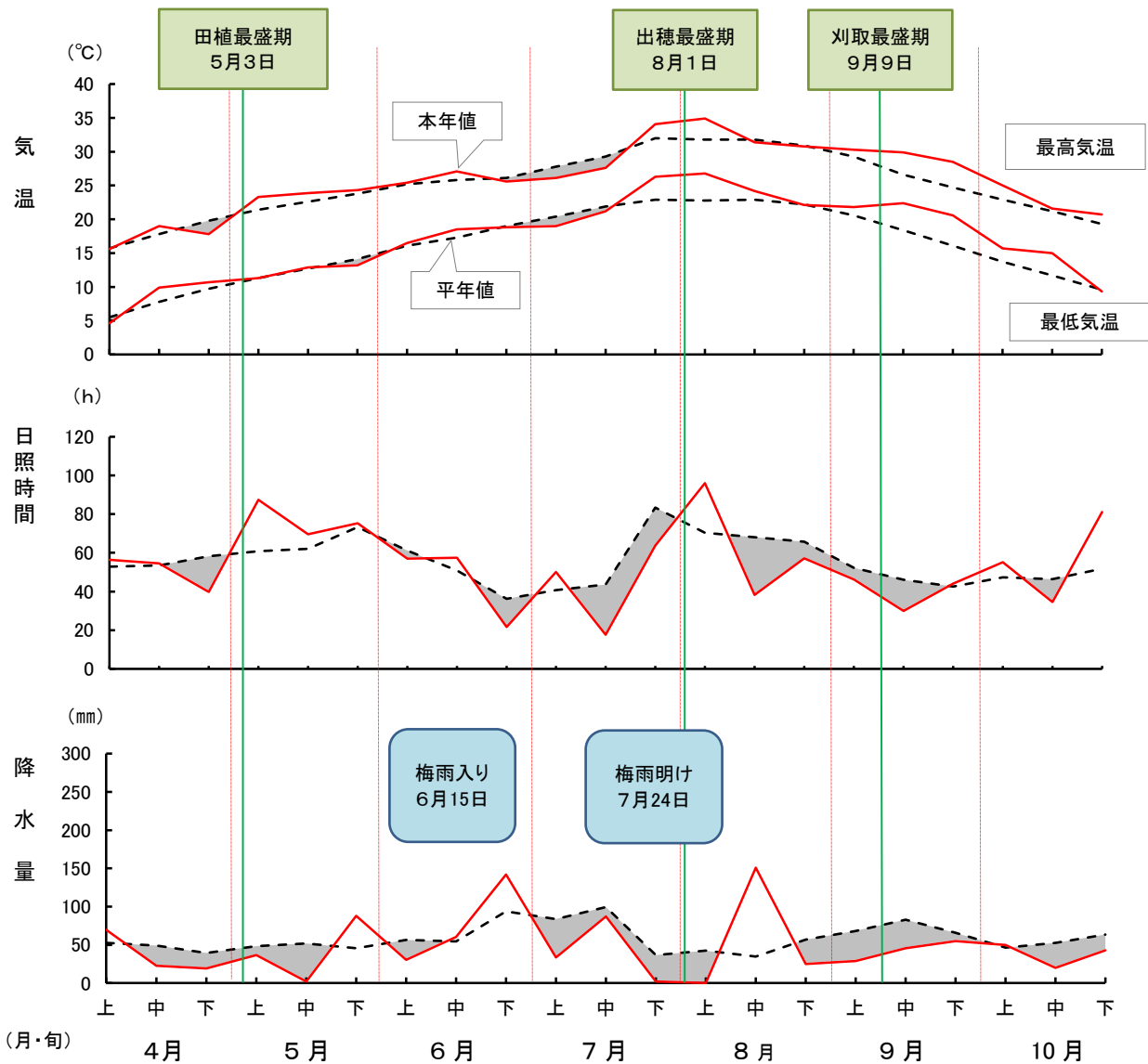
指 標		作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	福井コシヒカリ (60kg当たり)単価
		ha	kg	t	円
福井	福井	30,000	488	146,400	19,115
	嶺北	25,200	495	124,700	
	嶺南	4,790	452	21,700	

注:福井コシヒカリの価格は、銘柄別落札加重平均価格(指標価格)である。

作況指数		8月15日	9月15日	10月15日	収穫期
		福井	96	96	96
嶺北	嶺北	97	97	97	97
	嶺南	95	95	95	95

作柄概況		1㎡当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1㎡当たり全もみ数	登熟
		福井	平年並み	平年並み	平年並み
穂数は平年並みとなり、1穂当たりもみ数も平年並みとなったことから、全もみ数は平年並みとなった。 登熟は出穂後の日照不足に加え、いもち病の発生によりやや不良となったことから、作柄は作況指数96となった。					

気象図 福井地方気象台(福井観測点)



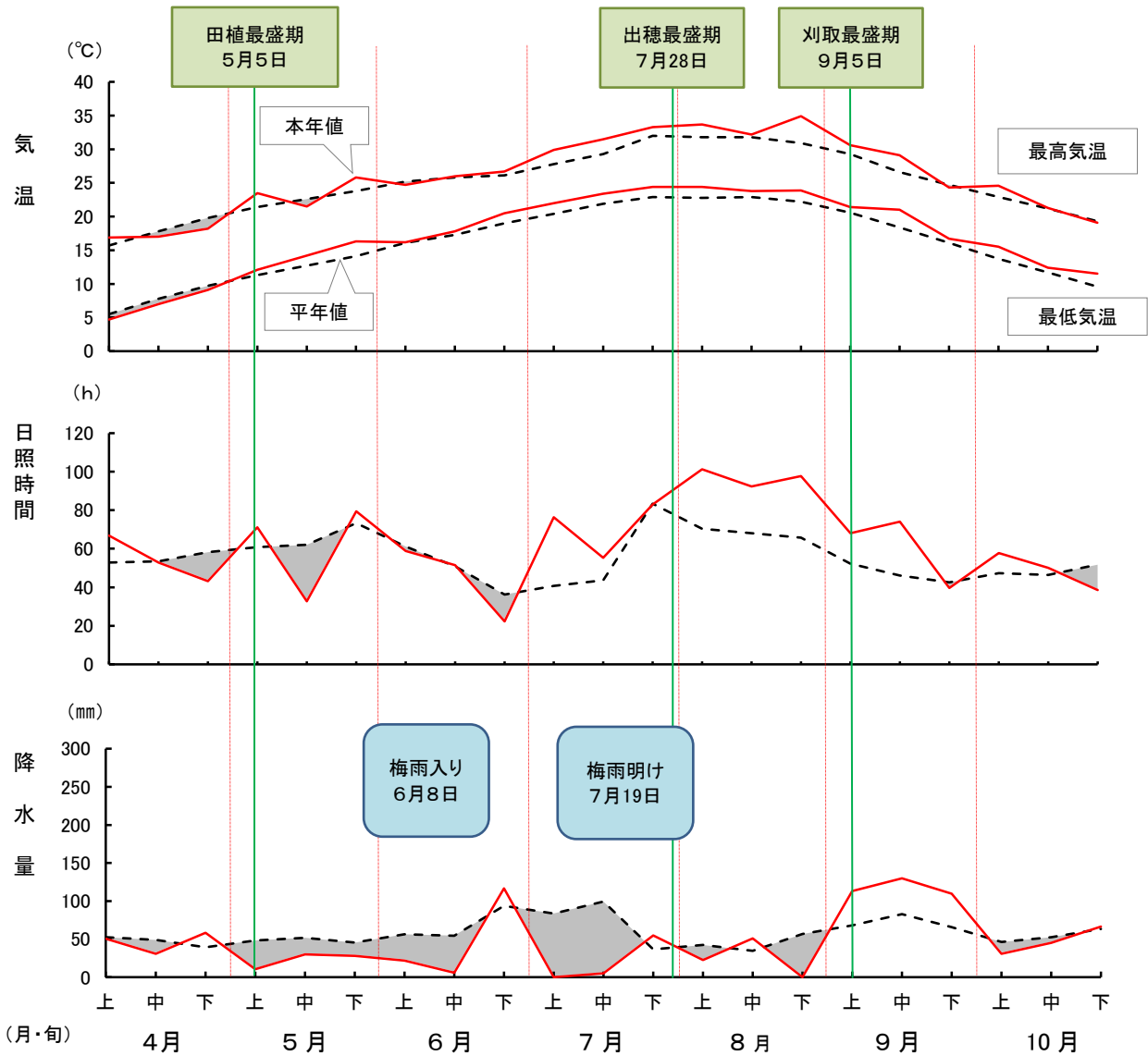
指 標	作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	福井コシヒカリ (60kg当たり)単価
	ha	kg	t	円
福井	29,700	512	152,100	17,287
嶺北	25,000	520	130,000	
嶺南	4,670	472	22,000	

注: 福井コシヒカリの価格は、銘柄別落札加重平均価格(指標価格)である。

作況指数	8月15日	9月15日	10月15日	収穫期
	福井	103	100	100
嶺北	103	101	101	101
嶺南	102	98	98	98

作柄概況	1㎡当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1㎡当たり全もみ数	登熟
	福井	やや多い	平年並み	やや多い
穂数は田植後の高温・多照によりやや多く、1穂当たりもみ数が平年並みとなったことから、全もみ数はやや多くなった。 登熟は出穂後のフェーン現象による連日の高夜温とその後が日照不足で経過したことからやや不良となり、作柄は作況指数100となった。				

気象図 福井地方気象台(福井観測点)



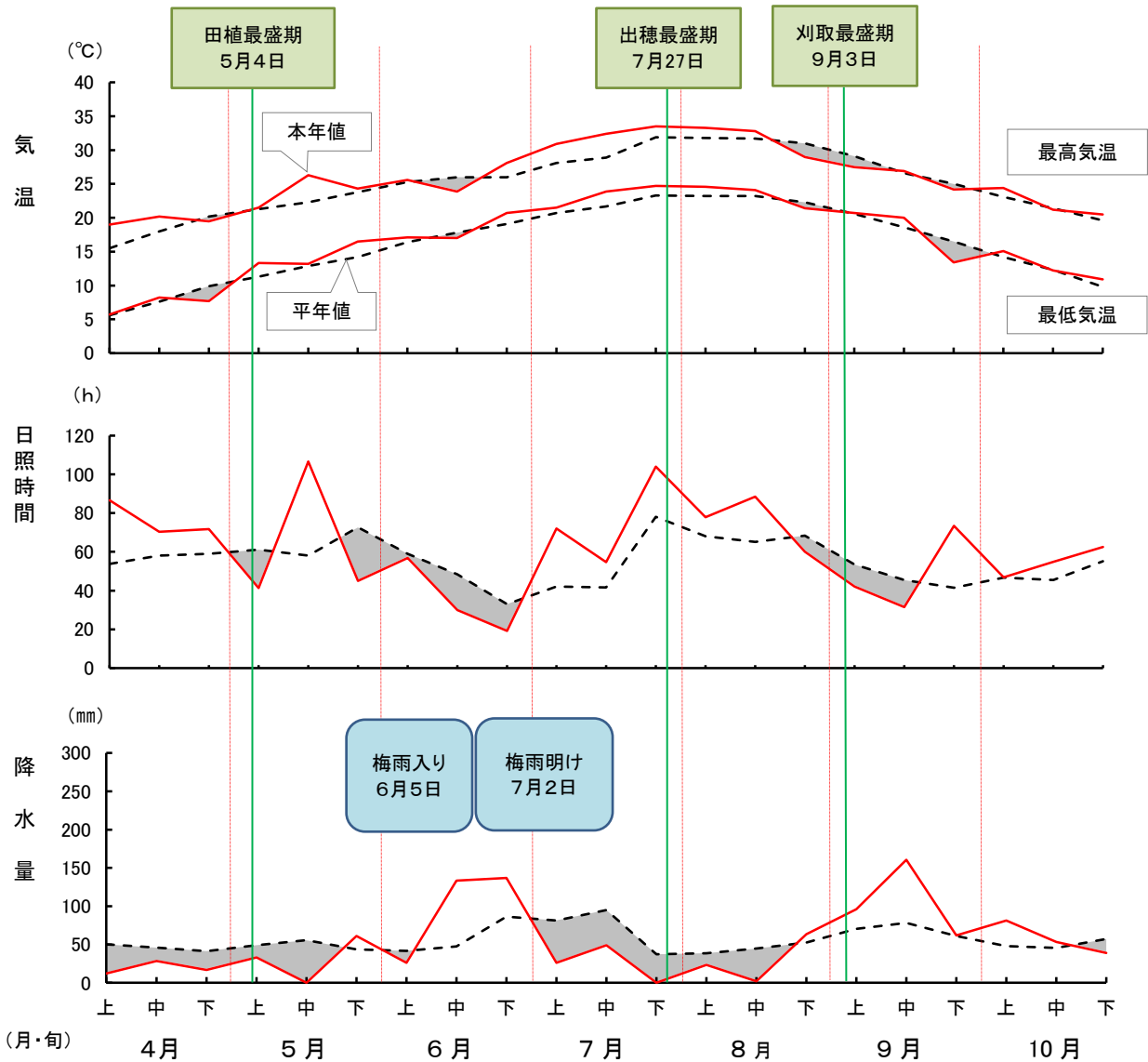
指 標		作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	福井コシヒカリ (60kg当たり)単価
		ha	kg	t	円
福井	福井	29,500	516	152,200	16,496
	嶺北	24,900	521	129,500	
	嶺南	4,630	492	22,700	

注: 福井コシヒカリの価格は、銘柄別落札加重平均価格(指標価格)である。

作況指数		8月15日	9月15日	10月15日	収穫期
		福井	平年並み	101	101
嶺北	嶺北	平年並み	101	101	101
	嶺南	平年並み	102	102	102

作柄概況		1㎡当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1㎡当たり全もみ数	登熟
		福井	平年並み	平年並み	平年並み
穂数は平年並みとなり、1穂当たりもみ数も平年並みとなったことから、全もみ数は平年並みとなった。 登熟は平年並みとなり、作柄は作況指数101となった。					

気象図 福井地方気象台(福井観測点)



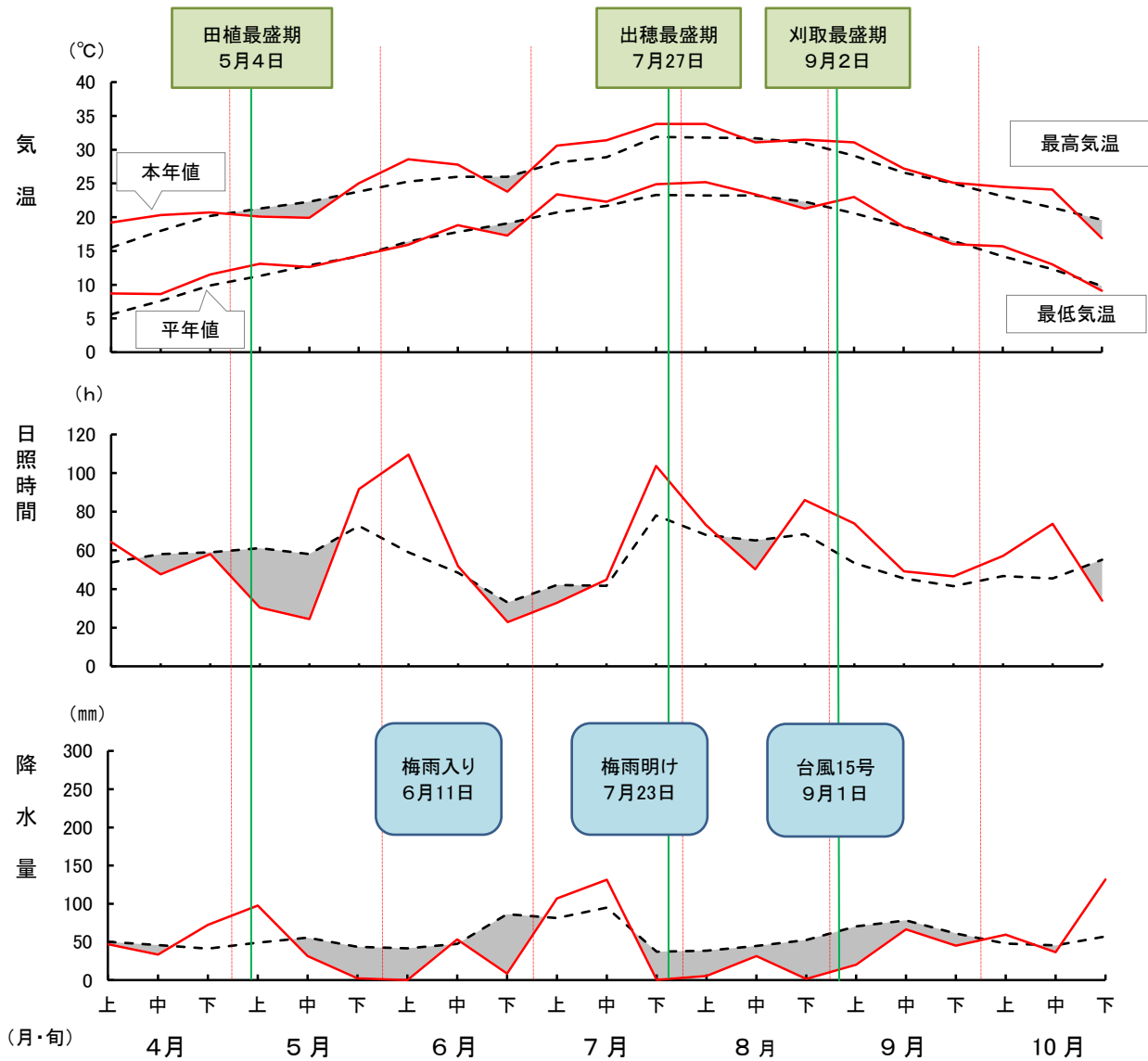
指 標		作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	福井コシヒカリ (60kg当たり)単価
		ha	kg	t	円
福井	福井	28,600	523	149,600	16,578
	嶺北	24,100	529	127,500	
	嶺南	4,510	489	22,100	

注: 福井コシヒカリの価格は、銘柄別落札加重平均価格(指標価格)である。

作況指数		8月15日	9月15日	10月15日	収穫期
		福井	平年並み	102	102
嶺北	嶺北	平年並み	102	102	102
	嶺南	平年並み	102	102	102

作柄概況		1㎡当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1㎡当たり全もみ数	登熟
		福井	平年並み	平年並み	平年並み
穂数は平年並みとなり、1穂当たりもみ数も平年並みとなったことから、全もみ数は平年並みとなった。 登熟は出穂後が高夜温であったものの、日照が確保されたことから平年並みとなり、作柄は作況指数102となった。					

気象図 福井地方気象台(福井観測点)



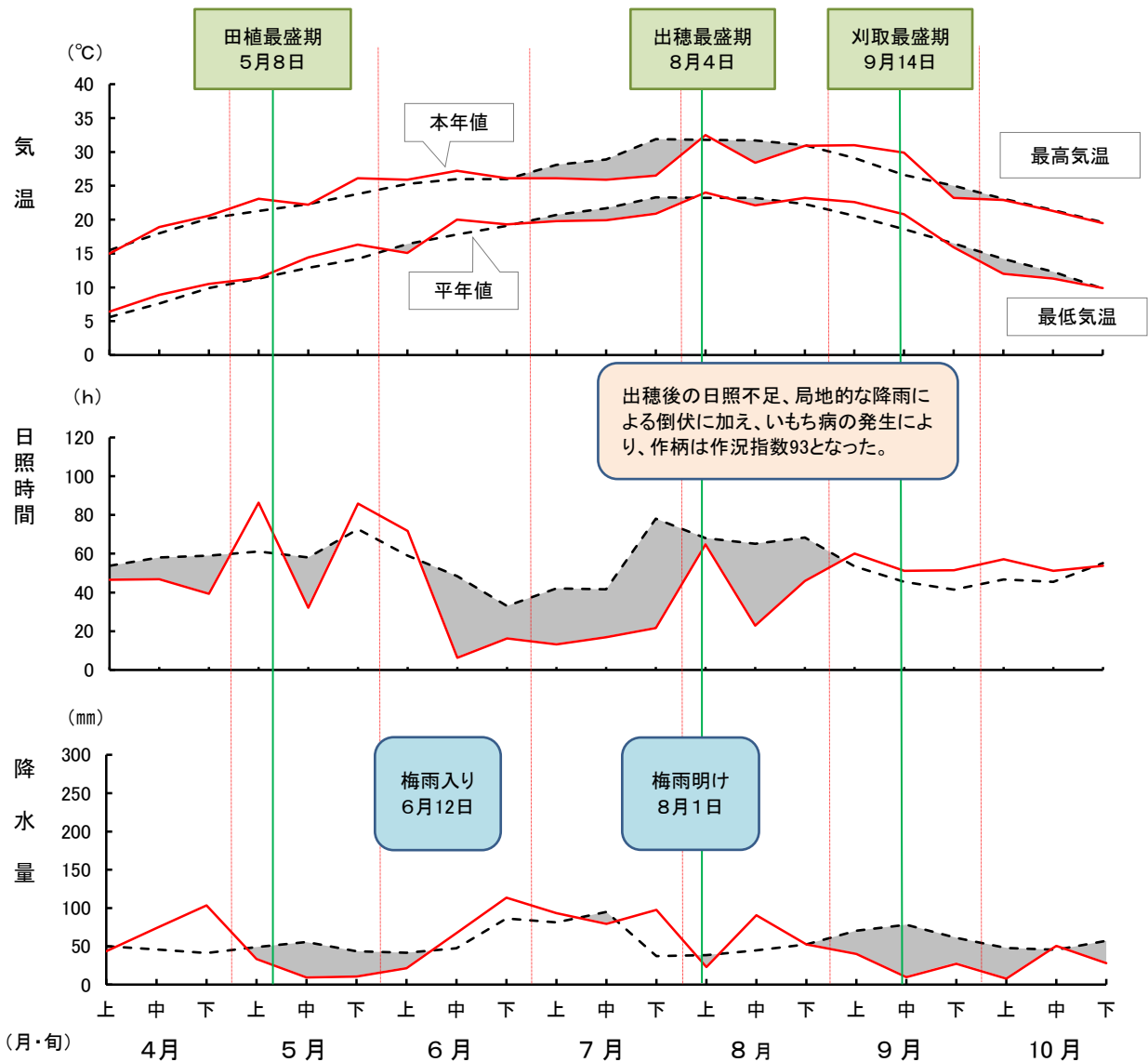
指 標	作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	福井コシヒカリ (60kg当たり)単価
	ha	kg	t	円
福井	28,300	505	142,900	16,840
嶺北	23,900	510	121,800	
嶺南	4,400	479	21,100	

注: 福井コシヒカリの価格は、銘柄別落札加重平均価格(指標価格)である。

作況指数	8月15日	9月15日	10月15日	収穫期
	福井	平年並み	98	98
嶺北	平年並み	98	98	98
嶺南	平年並み	98	98	98

作柄概況	1㎡当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1㎡当たり全もみ数	登熟
	福井	やや多い	やや少ない	平年並み
穂数は5月下旬から6月上旬の高温・多照によりやや多くなったものの、1穂当たりもみ数がやや少なくなったことから、全もみ数は平年並みとなった。 登熟は出穂後の高温により期間が短くなったことに加え、台風15号のフェーン現象によりやや不良となったことから、作柄は作況指数98となった。				

気象図 福井地方気象台(福井観測点)



指 標	作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	福井コシヒカリ (60kg当たり)単価
	ha	kg	t	円
福井	27,800	480	133,400	21,578
嶺北	23,500	488	114,700	
嶺南	4,290	436	18,700	

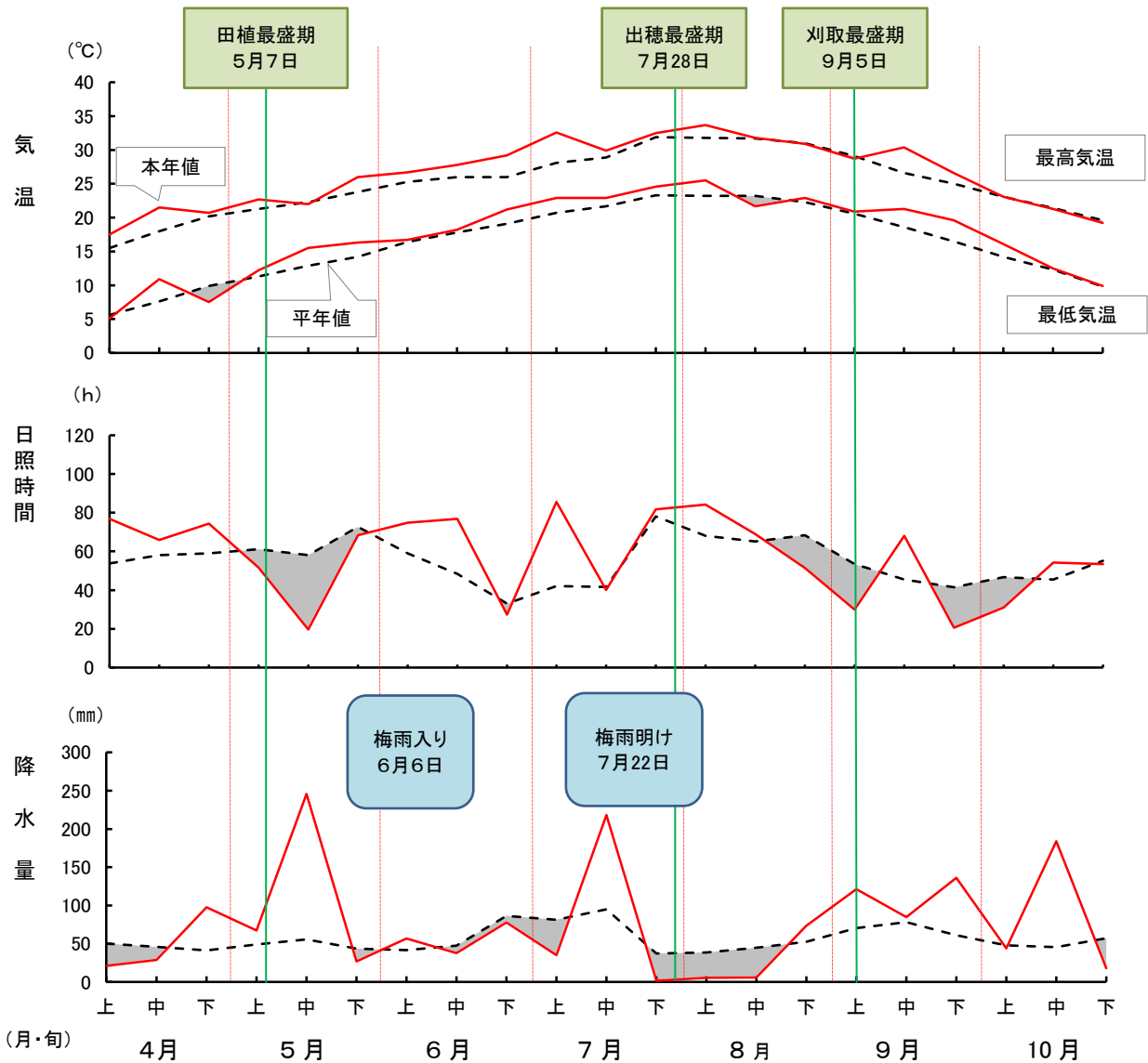
注: 福井コシヒカリの価格は、銘柄別落札加重平均価格(指標価格)である。

作況指数	8月15日	9月15日	10月15日	収穫期
	福井	やや不良	93	93
嶺北	やや不良	93	93	93
嶺南	やや不良	90	90	90

作柄概況	1㎡当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1㎡当たり全もみ数	登熟
	福井	やや少ない	やや多い	平年並み

穂数は6月中旬以降の日照不足によりやや少なくなったものの、1穂当たりもみ数がやや多くなったことから、全もみ数は平年並みとなった。
登熟は出穂後の日照不足、8月中旬の局地的な降雨による倒伏の発生に加え、いもち病の発生により不良となったことから、作柄は作況指数93となった。

気象図 福井地方気象台(福井観測点)



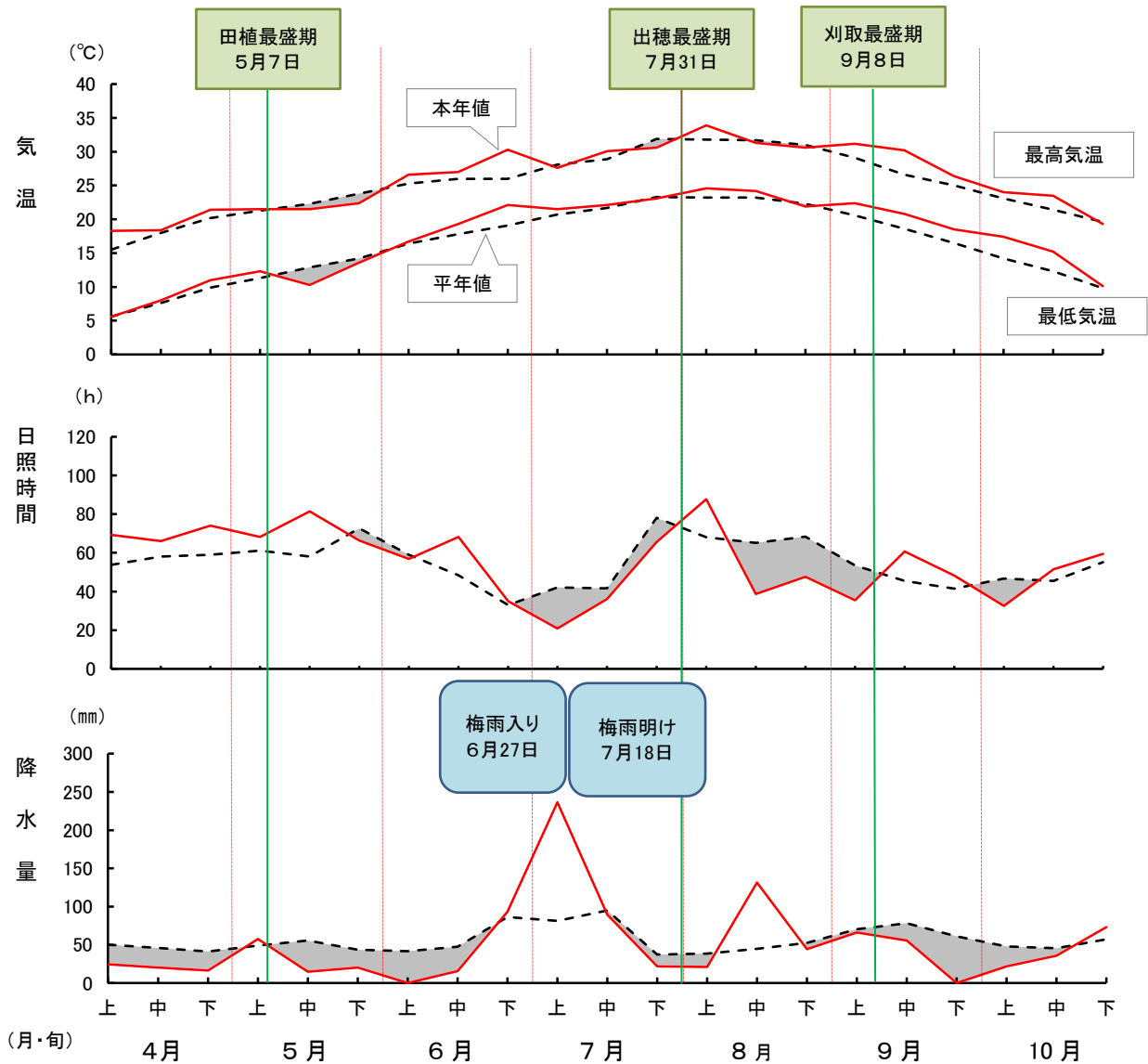
指 標		作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	福井コシヒカリ (60kg当たり)単価
		ha	kg	t	円
福井	福井	28,200	523	147,500	16,286
	嶺北	23,800	529	125,600	
	嶺南	4,450	493	21,900	

注: 福井コシヒカリの価格は、銘柄別落札加重平均価格(指標価格)である。

作況指数		8月15日	9月10日	10月15日	収穫期
		福井	平年並み	101	101
嶺北	嶺北	平年並み	101	101	101
	嶺南	平年並み	101	101	101

作柄概況		1㎡当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1㎡当たり全もみ数	登熟
		福井	やや少ない	やや多い	平年並み
穂数は田植後の日照不足・多雨によりやや少なくなったものの、1穂当たりもみ数がやや多くなったことから、全もみ数は平年並みとなった。 登熟は出穂後8月上旬が多照であったことからやや良となり、作柄は作況指数101となった。					

気象図 福井地方気象台(福井観測点)



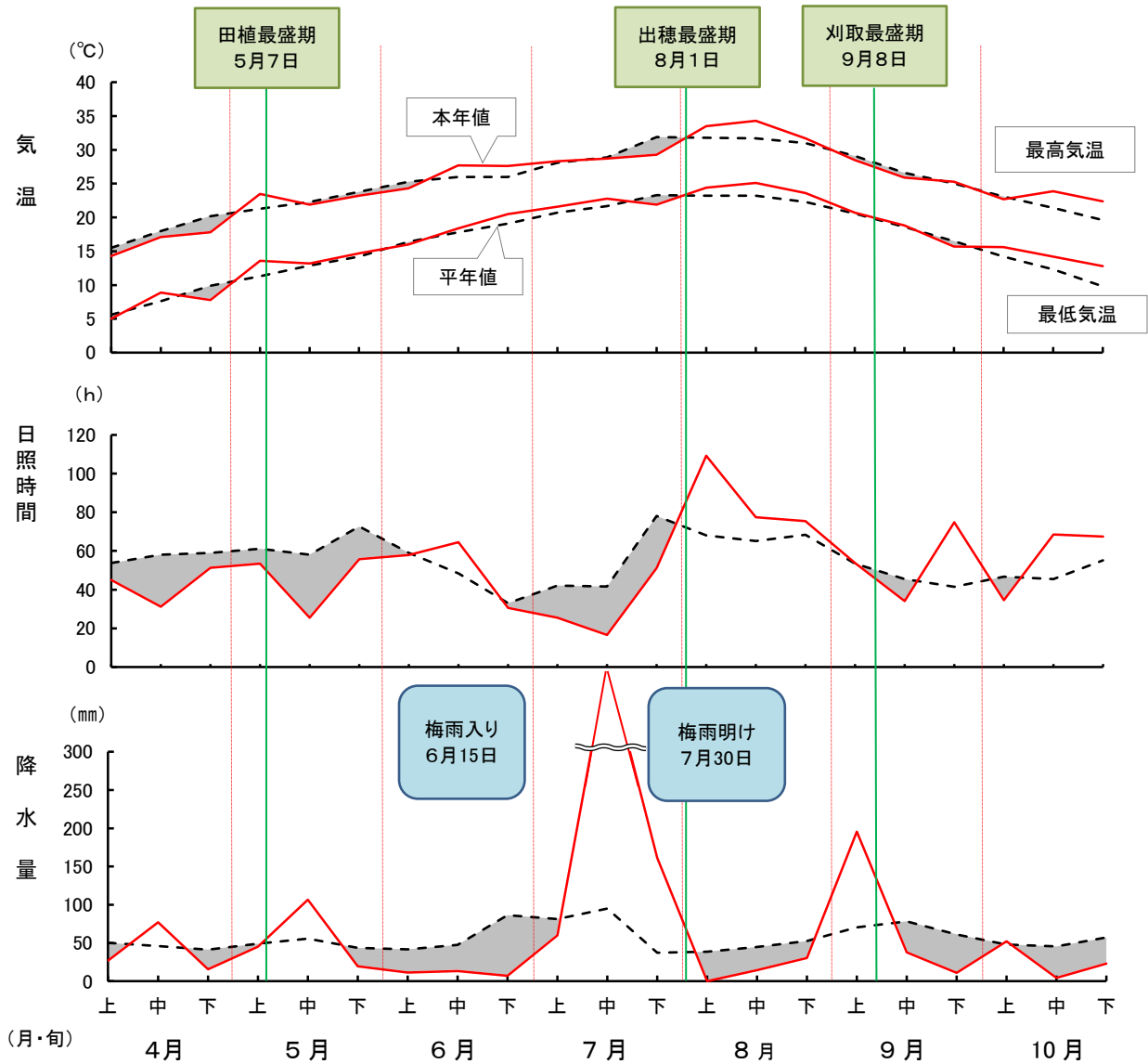
指 標	作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	福井コシヒカリ (60kg当たり)単価
	ha	kg	t	円
福井	28,300	522	147,700	15,784
嶺北	23,900	527	125,800	
嶺南	4,430	494	21,900	

注: 福井コシヒカリの価格は、銘柄別落札加重平均価格(指標価格)である。

作況指数	8月15日	9月15日	10月15日	収穫期
	福井	平年並み	101	101
嶺北	平年並み	101	101	101
嶺南	平年並み	101	101	101

作柄概況	1㎡当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1㎡当たり全もみ数	登熟
	福井	やや少ない	やや多い	平年並み
穂数は田植後の低温によりやや少なくなったものの、1穂当たりもみ数がやや多くなったことから、全もみ数は平年並みとなった。 登熟は平年並みとなり、作柄は作況指数101となった。				

気象図 福井地方気象台(福井観測点)



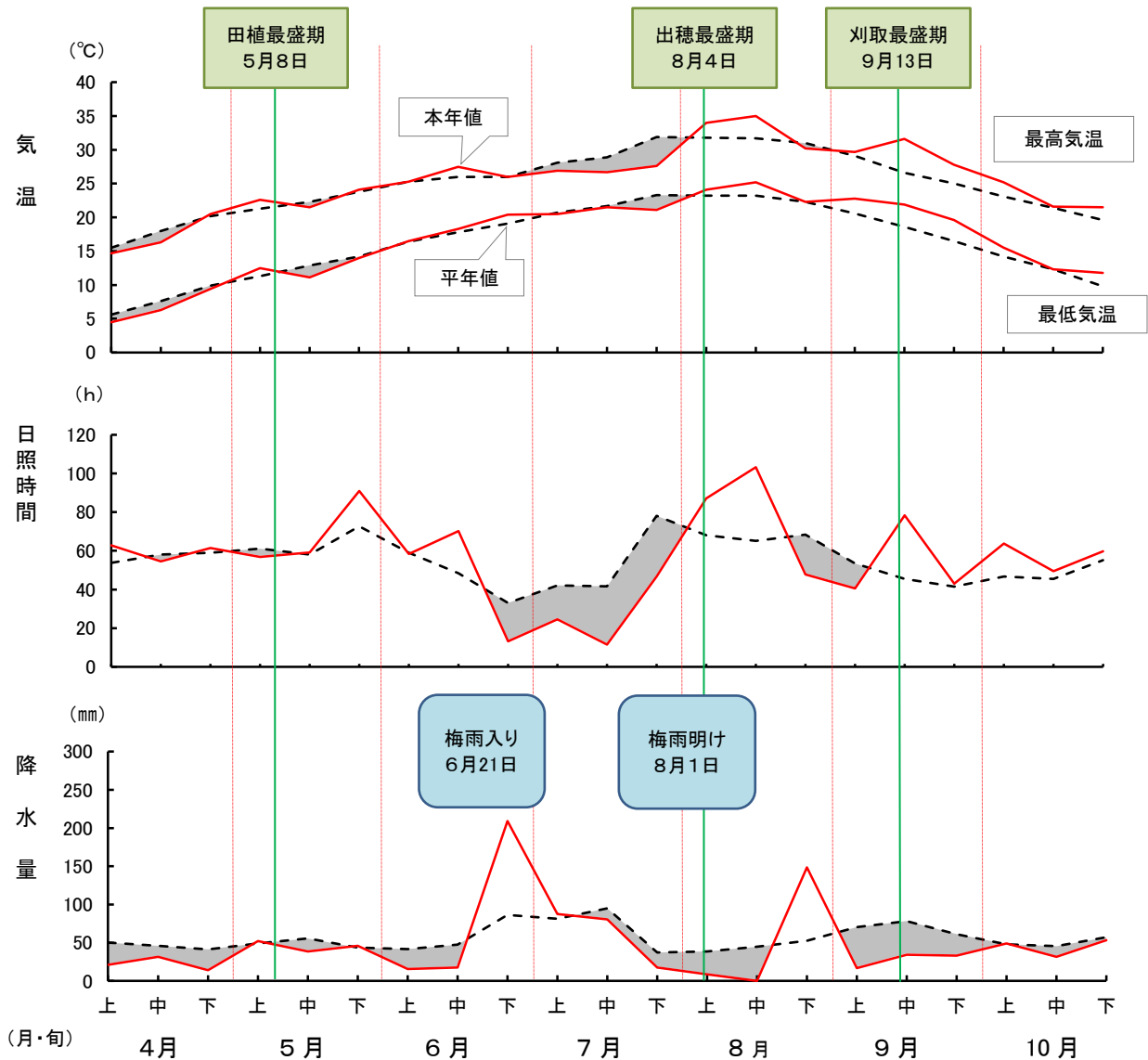
指 標		作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	福井コシヒカリ (60kg当たり)単価
		ha	kg	t	円
福井	福井	28,000	516	144,500	15,268
	嶺北	23,700	521	123,500	
	嶺南	4,300	489	21,000	

注: 福井コシヒカリの価格は、銘柄別落札加重平均価格(指標価格)である。

作況指数		8月15日	9月15日	10月15日	収穫期
		福井	やや不良	100	100
嶺北	やや不良	100	100	100	
嶺南	やや不良	100	100	100	

作柄概況		1㎡当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1㎡当たり全もみ数	登熟
		福井	少ない	やや多い	やや少ない
穂数は田植後の日照不足により少なく、1穂当たりもみ数がやや多くなったものの、全もみ数はやや少なくなった。 登熟は出穂後の好天によりやや良となり、作柄は作況指数100となった。					

気象図 福井地方気象台(福井観測点)



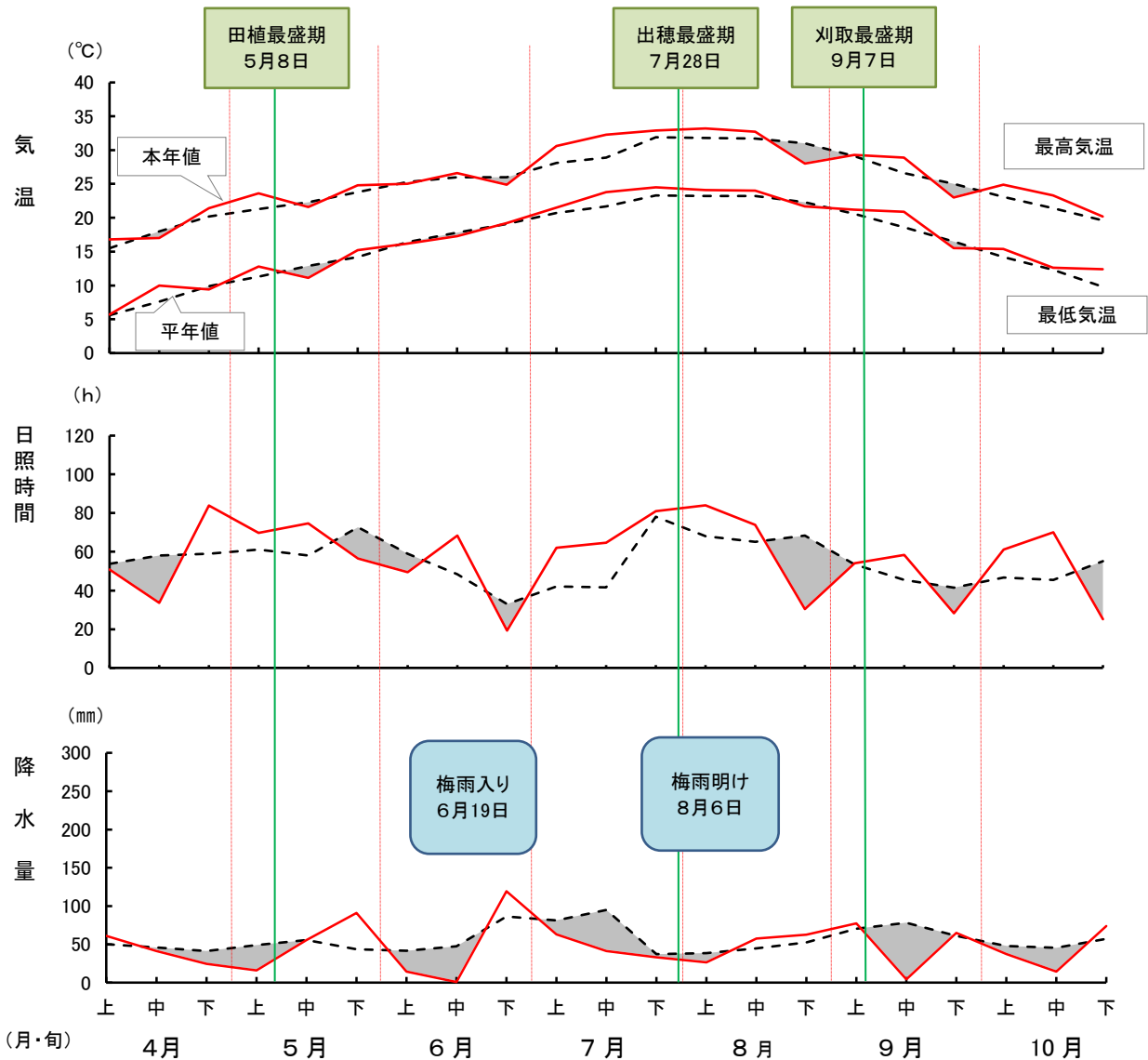
指 標	作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	福井コシヒカリ (60kg当たり)単価
	ha	kg	t	円
福井	27,500	512	140,800	14,052
嶺北	23,200	519	120,600	
嶺南	4,240	476	20,200	

注: 福井コシヒカリの価格は、銘柄別落札加重平均価格(指標価格)である。

作況指数	8月15日	9月15日	10月15日	収穫期
	福井	平年並み	99	99
嶺北	平年並み	99	99	99
嶺南	平年並み	98	98	98

作柄概況	1㎡当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1㎡当たり全もみ数	登熟
	福井	やや少ない	平年並み	平年並み
穂数は6月下旬からの日照不足によりやや少なく、1穂当たりもみ数が平年並みとなったことから、全もみ数は平年並みとなった。 登熟は平年並みとなり、作柄は作況指数99となった。				

気象図 福井地方気象台(福井観測点)



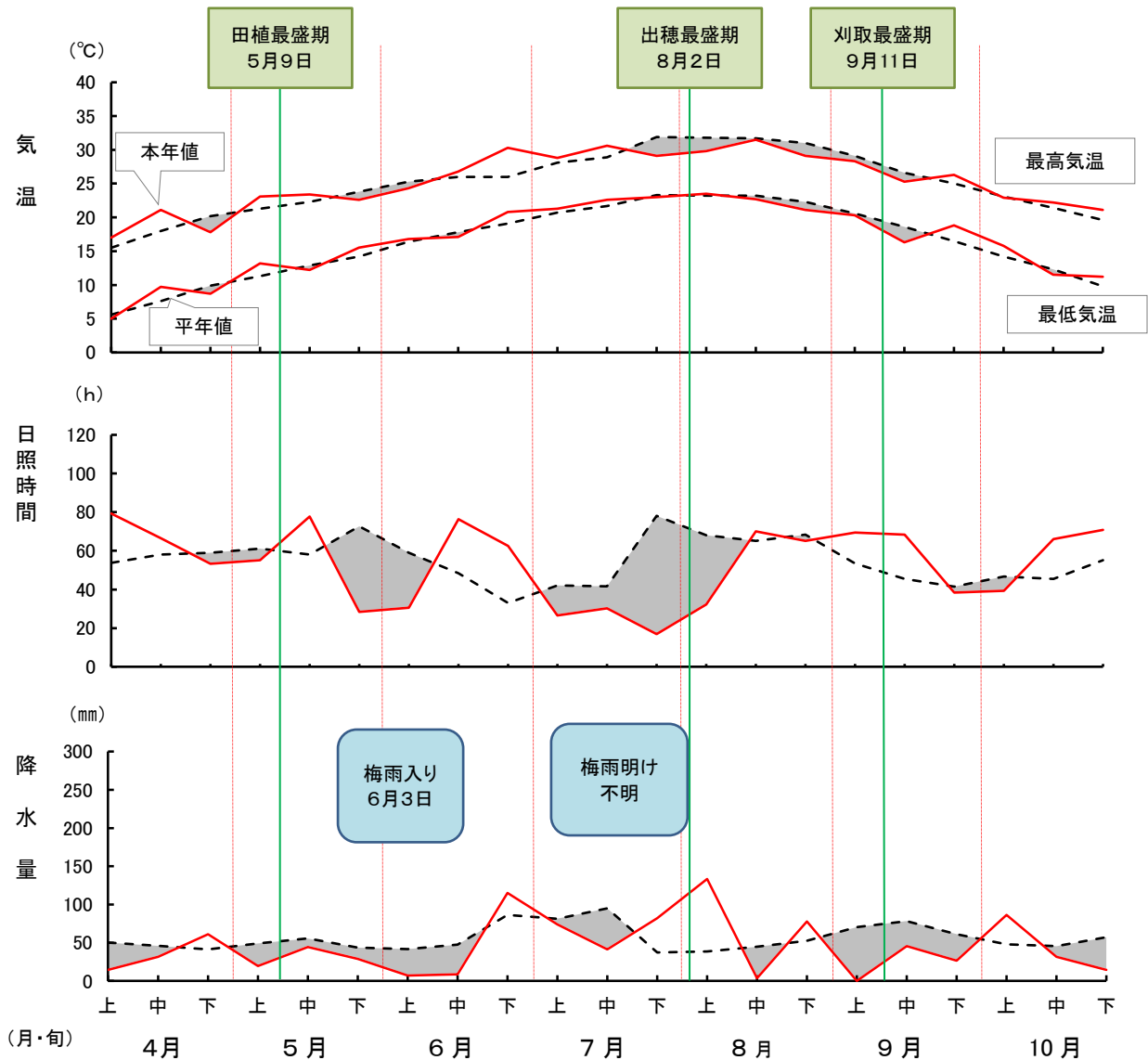
指 標		作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	福井コシヒカリ (60kg当たり)単価
		ha	kg	t	円
福井	福井	26,800	529	141,800	15,200
	嶺北	22,700	536	121,400	
	嶺南	4,130	493	20,400	

注: 福井コシヒカリの価格は、銘柄別落札加重平均価格(指標価格)である。

作況指数		8月15日	9月15日	10月15日	収穫期
		福井	やや良	102	102
嶺北	やや良	102	102	102	
嶺南	平年並み	101	101	101	

作柄概況	福井	1㎡当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1㎡当たり全もみ数	登熟
		やや多い	平年並み	やや多い	平年並み
穂数は6月中旬の多照によりやや多く、1穂当たりもみ数が平年並みとなったことから、全もみ数はやや多くなった。 登熟は平年並みとなり、作柄は作況指数102となった。					

気象図 福井地方気象台(福井観測点)



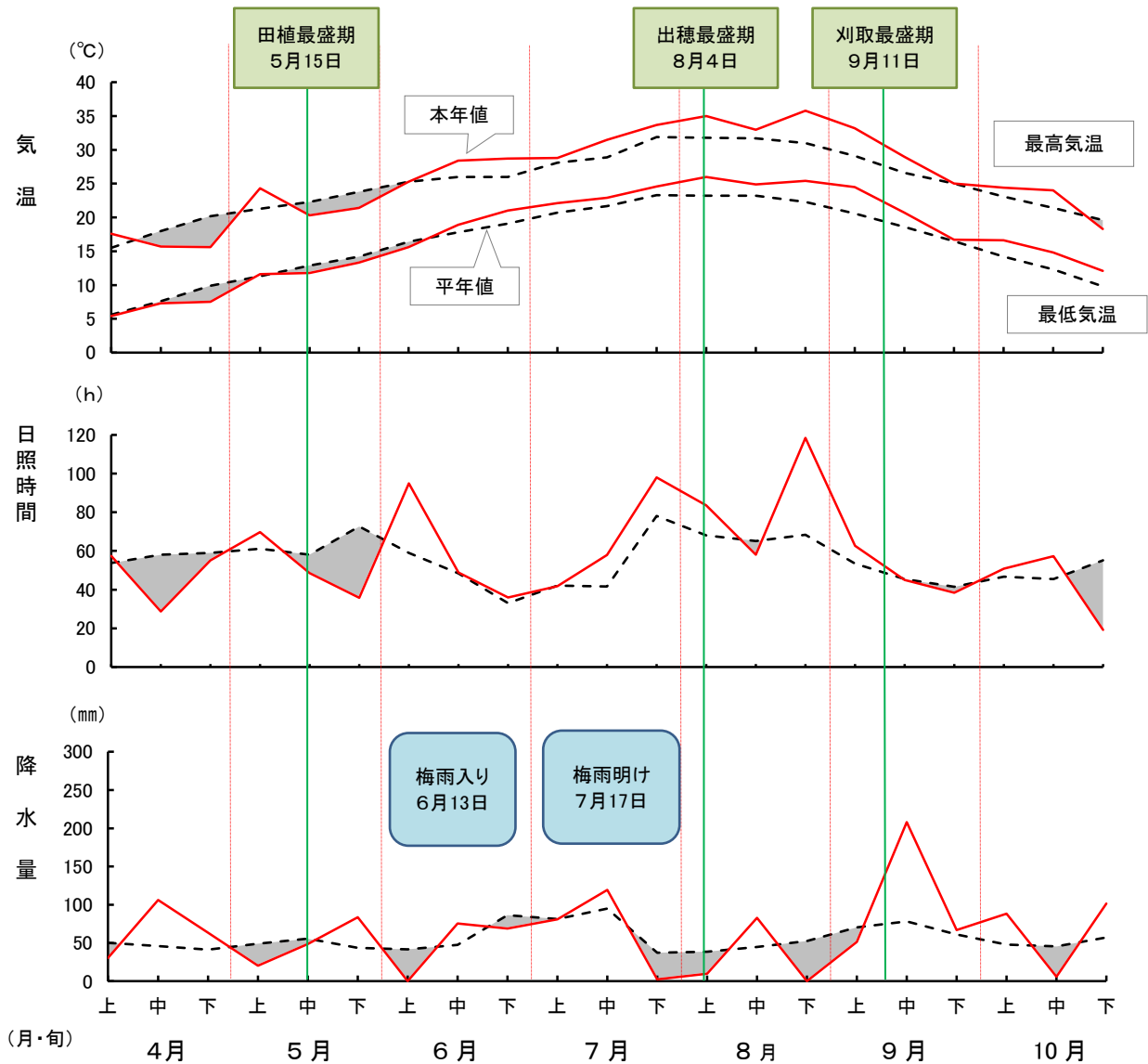
指 標	作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	福井コシヒカリ (60kg当たり)単価
	ha	kg	t	円
福井	26,800	500	134,000	14,700
嶺北	22,600	509	115,000	
嶺南	4,150	452	18,800	

注: 福井コシヒカリの価格は、銘柄別落札加重平均価格(指標価格)である。

作況指数	8月15日	9月15日	10月15日	収穫期
	福井	やや不良	97	97
嶺北	やや不良	97	97	97
嶺南	やや不良	93	93	93

作柄概況	1㎡当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1㎡当たり全もみ数	登熟
	福井	平年並み	平年並み	やや少ない
穂数及び1穂当たりもみ数は周期的な日照不足の影響はあったものの平年並みとなり、全もみ数はやや少なくなった。 登熟は出穂後の低温・日照不足によりやや不良となったことから、作柄は作況指数97となった。				

気象図 福井地方気象台(福井観測点)



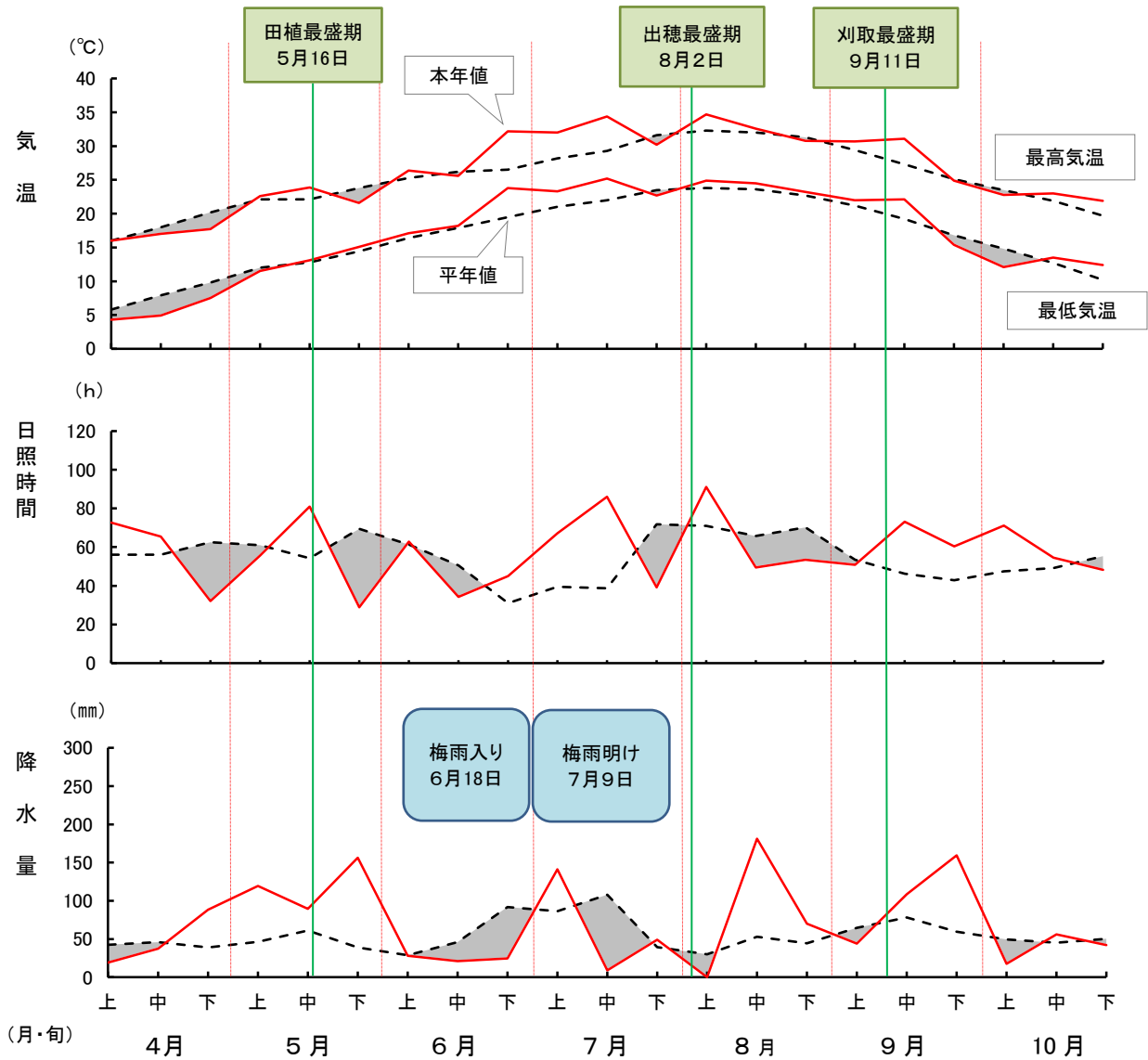
指 標	作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	福井コシヒカリ (60kg当たり)単価
	ha	kg	t	円
福井	26,800	518	138,800	13,400
嶺北	22,600	523	118,200	
嶺南	4,170	489	20,400	

注: 福井コシヒカリの価格は、米の相対取引価格(出荷業者・通年平均)である。

作況指数	8月15日	9月15日	10月15日	収穫期
	福井	平年並み	100	100
嶺北	平年並み	100	100	100
嶺南	平年並み	100	100	100

作柄概況	1㎡当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1㎡当たり全もみ数	登熟
	福井	少ない	多い	平年並み
穂数は田植後の低温・日照不足により少なくなったものの、1穂当たりもみ数が多くなったことから、全もみ数は平年並みとなった。 登熟は平年並みとなり、作柄は作況指数100となった。				

気象図 福井地方気象台(福井観測点)



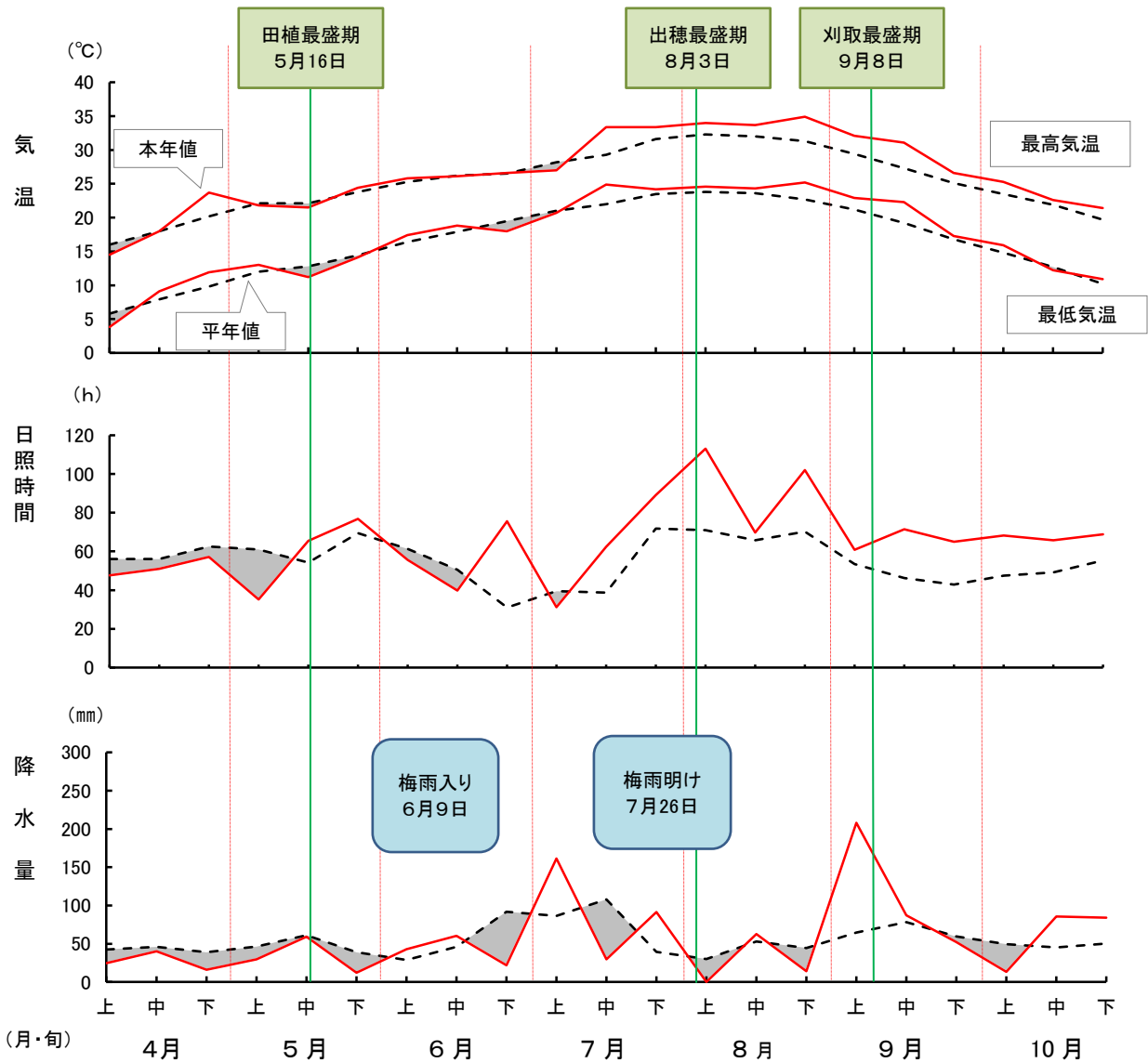
指 標		作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	福井コシヒカリ (60kg当たり)単価
		ha	kg	t	円
福井	福井	26,500	523	138,600	16,050
	嶺北	22,400	528	118,300	
	嶺南	4,130	493	20,400	

注: 福井コシヒカリの価格は、米の相対取引価格(出荷業者・通年平均)である。

作況指数		8月15日	9月15日	10月15日	収穫期
		福井	平年並み	101	101
嶺北	嶺北	平年並み	101	101	101
	嶺南	平年並み	101	101	101

作柄概況		1㎡当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1㎡当たり全もみ数	登熟
		福井	やや少ない	やや多い	平年並み
穂数は5月下旬の低温・日照不足によりやや少なくなったものの、1穂当たりもみ数がやや多くなったことから、全もみ数は平年並みとなった。 登熟は平年並みとなり、作柄は作況指数101となった。					

気象図 福井地方気象台(福井観測点)



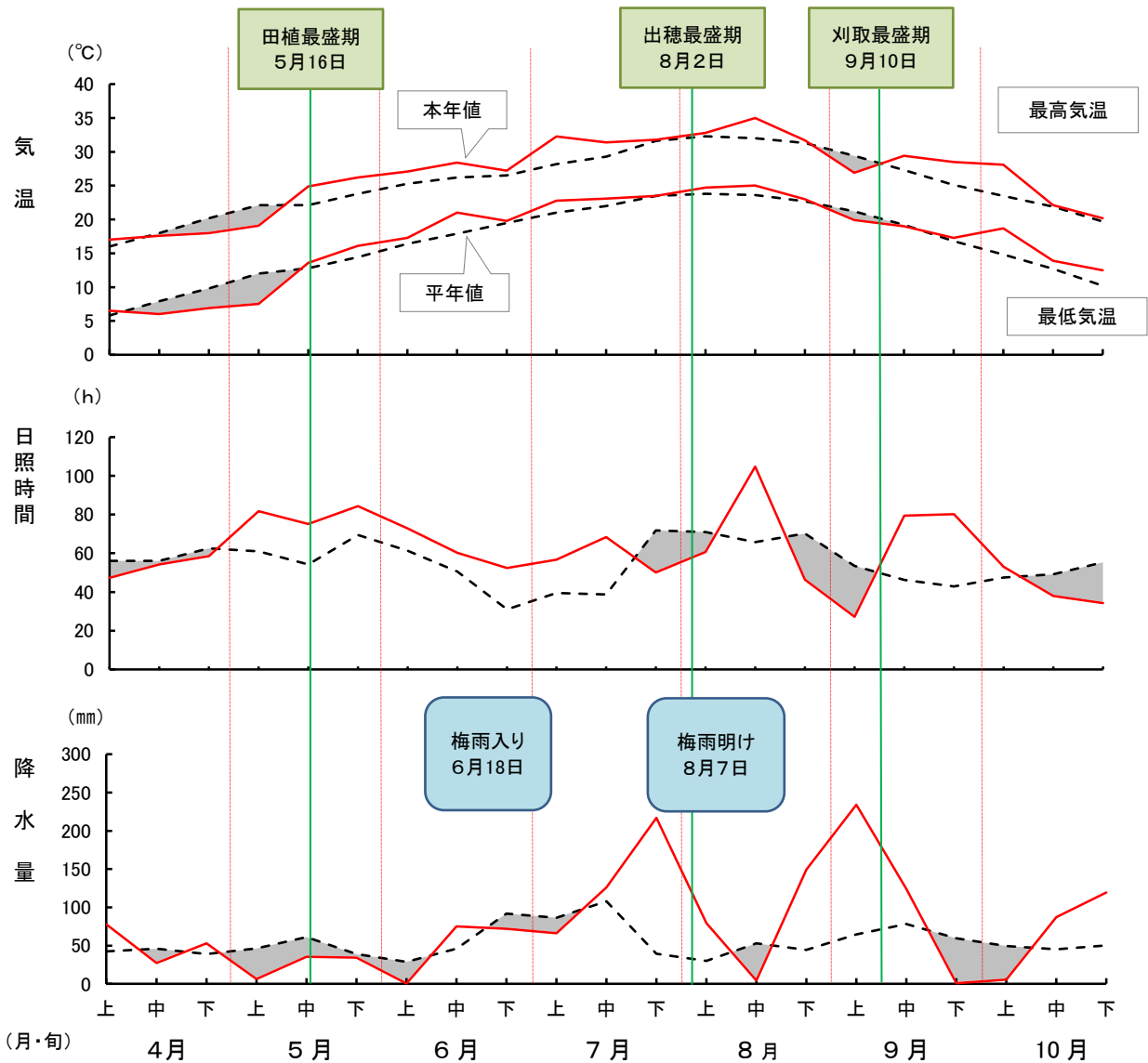
指 標		作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	福井コシヒカリ (60kg当たり)単価
		ha	kg	t	円
福井	福井	26,400	519	137,000	17,121
	嶺北	22,300	525	117,100	
	嶺南	4,100	489	20,000	

注: 福井コシヒカリの価格は、米の相対取引価格(出荷業者・通年平均)である。

作況指数		8月15日	9月15日	10月15日	収穫期
		福井	平年並み	100	100
嶺北	嶺北	平年並み	100	100	100
	嶺南	平年並み	100	100	100

作柄概況		1㎡当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1㎡当たり全もみ数	登熟
		福井	やや少ない	やや多い	平年並み
穂数は6月中旬の日照が少なかったことからやや少なくなったものの、1穂当たりもみ数がやや多くなったことから、全もみ数は平年並みとなった。 登熟は平年並みとなり、作柄は作況指数100となった。					

気象図 福井地方気象台(福井観測点)



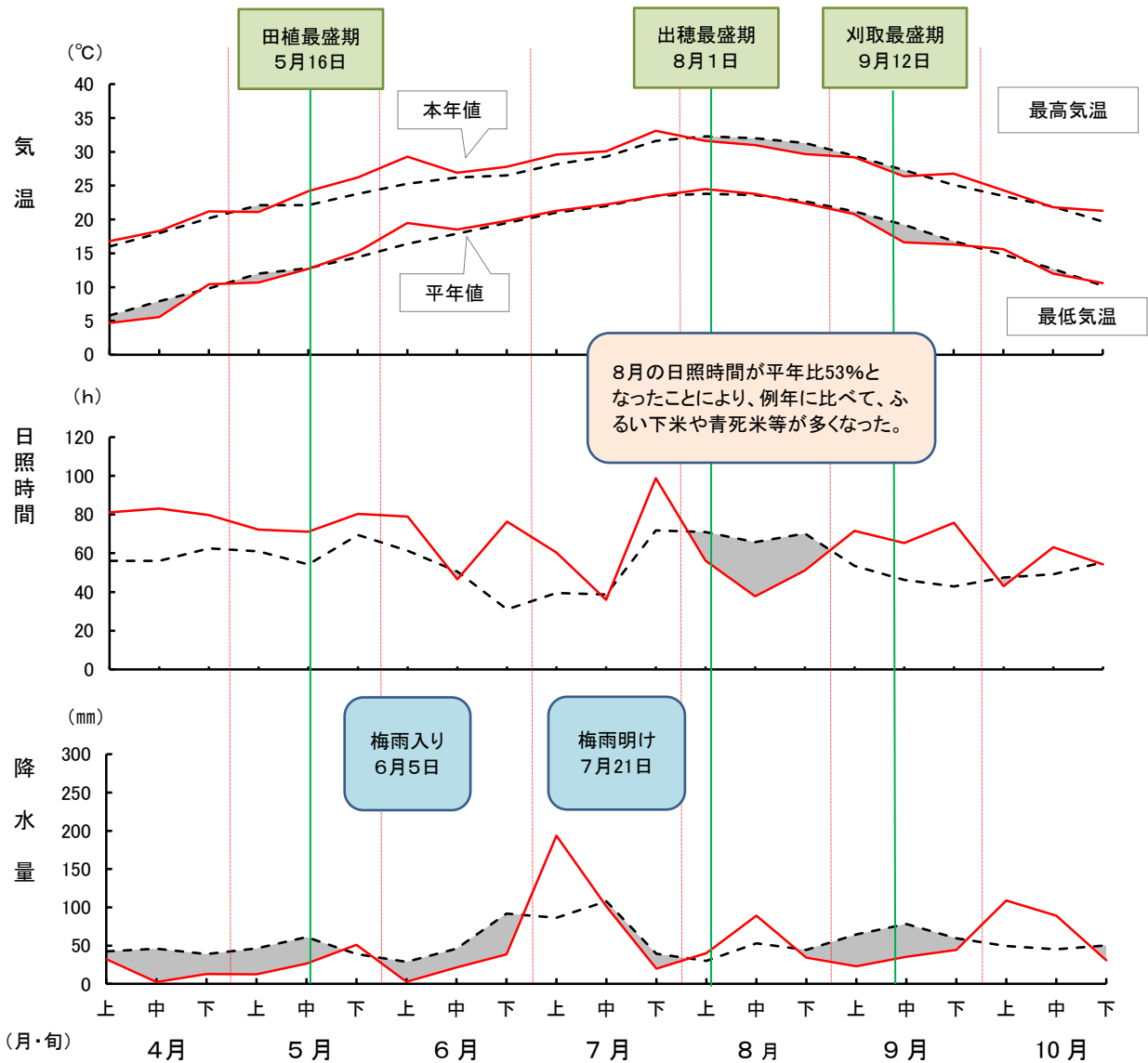
指 標		作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	福井コシヒカリ (60kg当たり)単価
		ha	kg	t	円
福井	福井	26,500	526	139,400	14,720
	嶺北	22,400	532	119,200	
	嶺南	4,130	492	20,300	

注: 福井コシヒカリの価格は、米の相対取引価格(出荷業者・通年平均)である。

作況指数		8月15日	9月15日	10月15日	収穫期
		福井	平年並み	102	102
嶺北	嶺北	平年並み	102	102	102
	嶺南	平年並み	102	101	101

作柄概況		1㎡当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1㎡当たり全もみ数	登熟
		福井	平年並み	平年並み	平年並み
穂数は平年並みとなり、1穂当たりもみ数も平年並みとなったことから、全もみ数は平年並みとなった。 登熟は8月中旬の高温・多照によりやや良となったことから、作柄は作況指数102となった。					

気象図 福井地方気象台(福井観測点)



指 標	作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	福井コシヒカリ (60kg当たり)単価
	ha	kg	t	円
福井	26,200	510	133,600	12,951
嶺北	22,200	515	114,300	
嶺南	4,060	482	19,600	

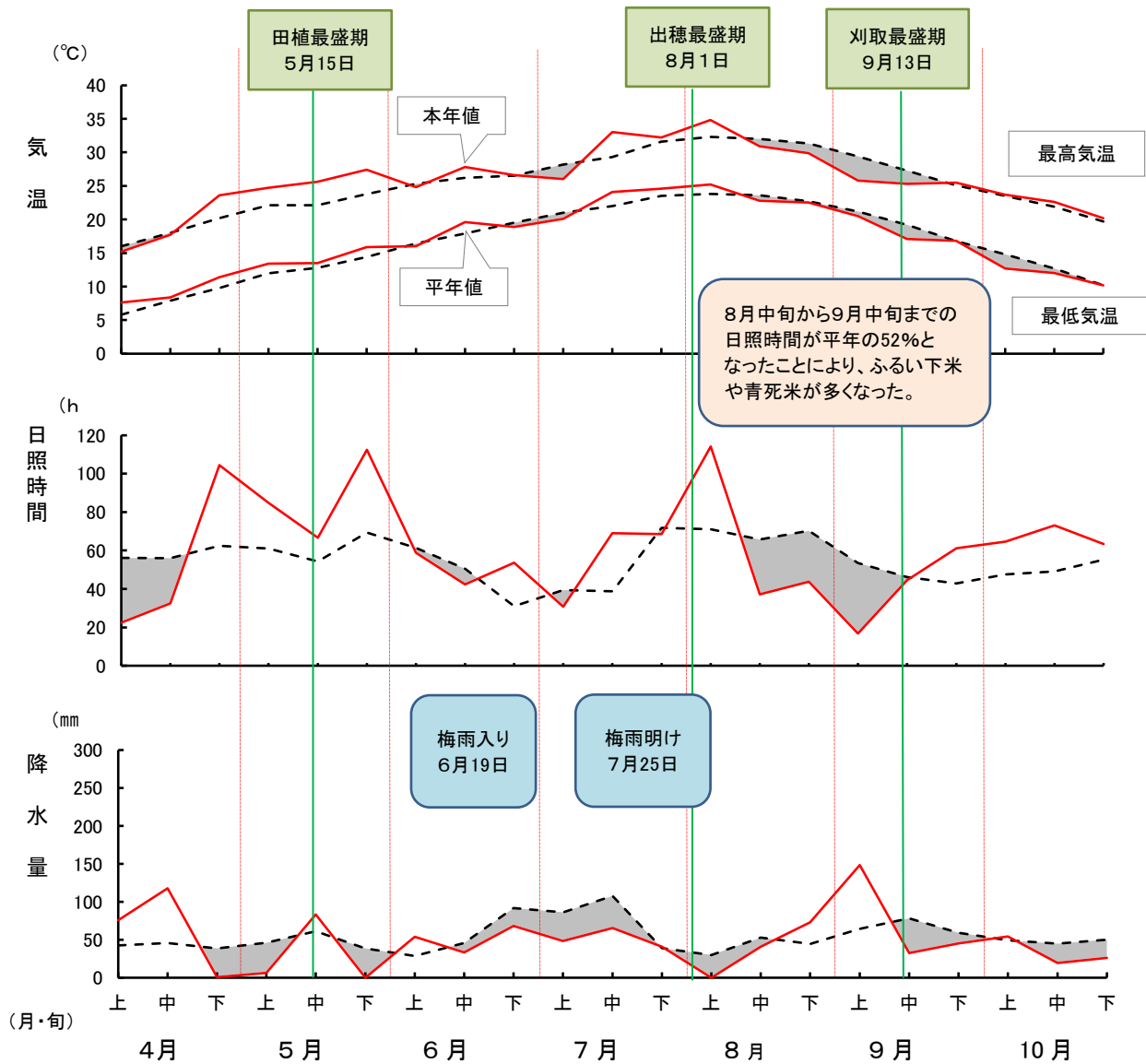
注: 福井コシヒカリの価格は、米の相対取引価格(出荷業者・通年平均)である。

作況指数	8月15日	9月15日	10月15日	収穫期
	福井	平年並み	98	98
嶺北	平年並み	98	98	98
嶺南	平年並み	98	98	98

作柄概況	1㎡当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1㎡当たり全もみ数	登熟
	福井	やや多い	平年並み	やや多い

穂数はやや多く、1穂当たりもみ数が平年並みとなったことから、全もみ数はやや多くなった。
登熟は出穂期以降、低温・日照不足で経過したことからやや不良となり、作柄は作況指数98となった。

気象図 福井地方气象台(福井観測点)



指 標		作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	福井コシヒカリ (60kg当たり)単価
		ha	kg	t	円
福井	福井	25,600	518	132,600	14,206
	嶺北	21,700	523	113,500	
	嶺南	3,930	491	19,300	

注: 福井コシヒカリの価格は、米の相対取引価格(出荷業者・通年平均)である。

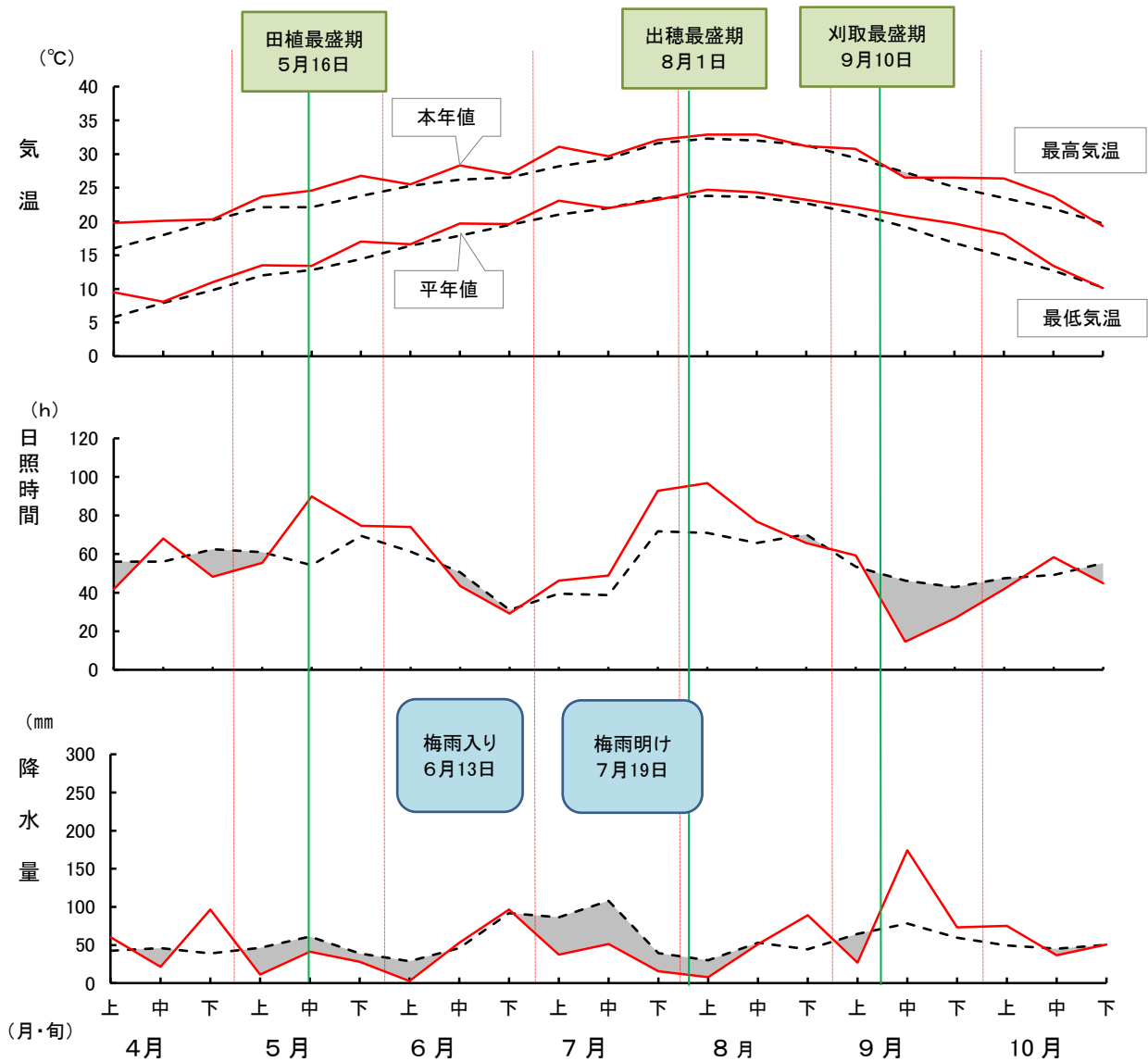
作況指数		8月15日	9月15日	10月15日	収穫期
		福井	やや良	101	99
嶺北	やや良	101	99	99	
嶺南	やや良	101	99	99	

注: 本年産から農家等が使用しているふるい目幅ベースの作況指数となった。以降の年次も同様。

作柄概況	福井	1㎡当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1㎡当たり全もみ数	登熟
		やや多い	平年並み	やや多い	やや不良

穂数は田植期以降、総じて高温・多照であったことからやや多くなった。1穂当たりもみ数は7月以降の高温・多照により平年並みを確保したことから、全もみ数はやや多くなった。登熟は8月中旬から9月中旬までの日照不足等により子実の肥大・充実が緩慢となったことからやや不良となり、作柄は作況指数99となった。

気象図 福井地方気象台(福井観測点)



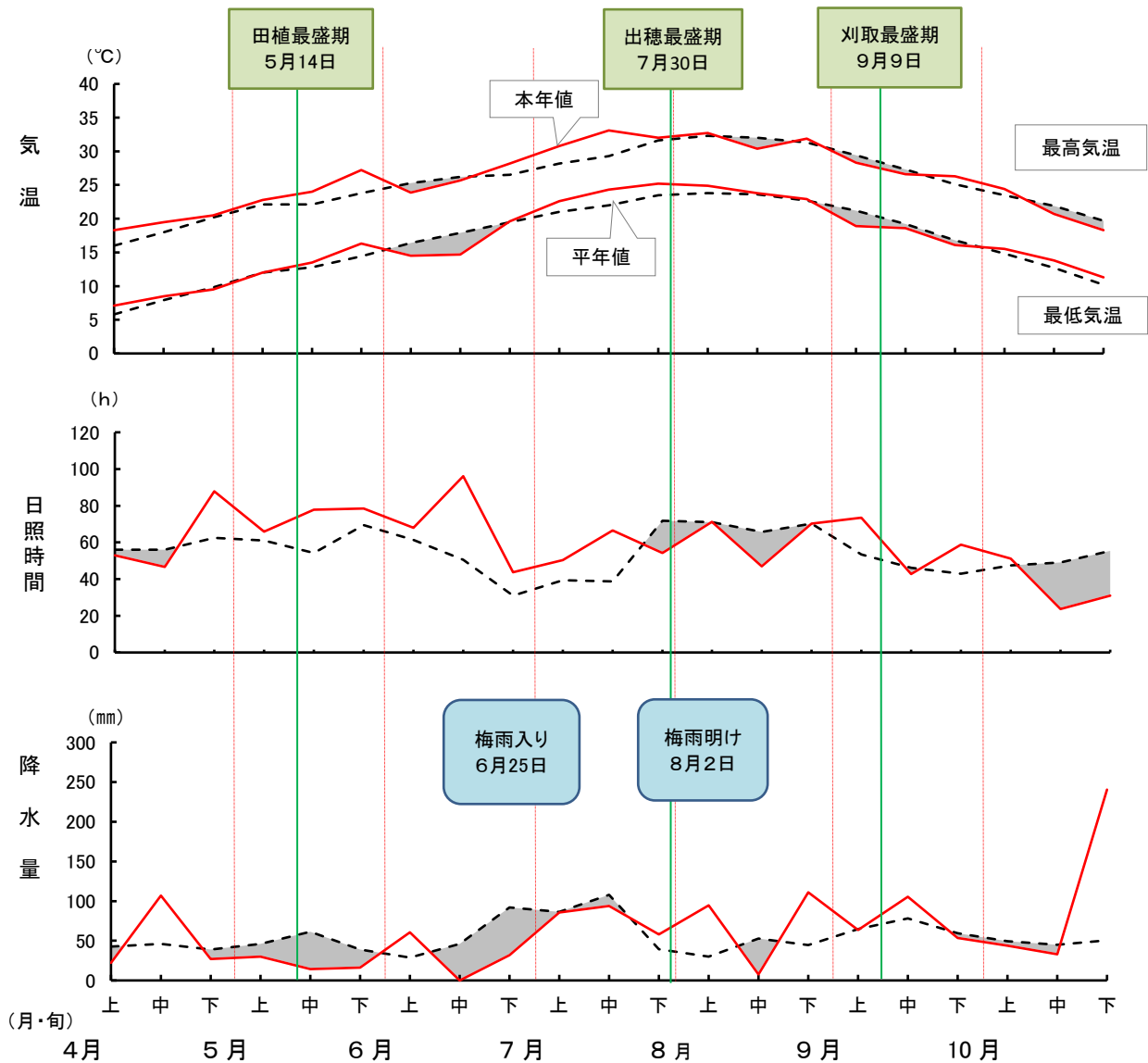
指 標		作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	福井コシヒカリ (60kg当たり)単価
		ha	kg	t	円
福井	福井	25,100	535	134,300	14,930
	嶺北	21,300	540	115,000	
	嶺南	3,780	506	19,100	

注: 福井コシヒカリの価格は、米の相対取引価格(出荷業者・通年平均)である。

作況指数		8月15日	9月15日	10月15日	収穫期
		福井	やや良	104	104
嶺北	嶺北	やや良	104	104	104
	嶺南	平年並み	104	104	104

作柄概況		1㎡当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1㎡当たり全もみ数	登熟
		福井	やや多い	やや少ない	平年並み
穂数は田植期以降、おおむね天候に恵まれたことからやや多くなった。1穂当たりもみ数は穂数がやや多いことによる相反作用によりやや少なかったものの、全もみ数は平年並みとなった。 登熟は出穂期以降も天候に恵まれたことから、開花・受精及び子実の肥大・充実とも順調であったことからやや良となり、作柄は作況指数104となった。					

気象図 福井地方気象台(福井観測点)



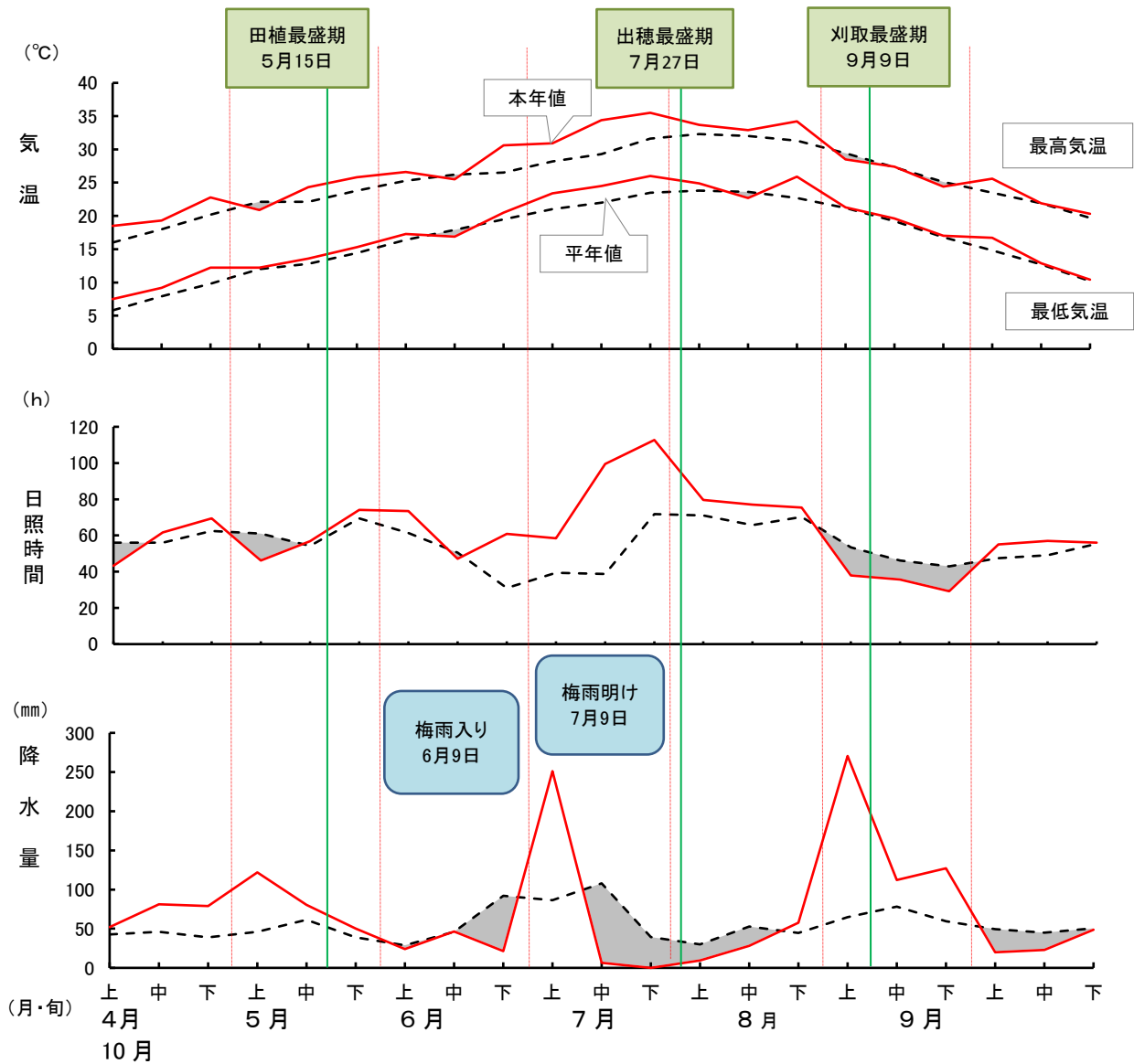
指標	作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	福井コシヒカリ (60kg当たり)単価
	ha	kg	t	円
福井	24,900	525	130,700	15,964
嶺北	21,200	531	112,600	
嶺南	3,690	493	18,200	

注: 福井コシヒカリの価格は、米の相対取引価格(出荷業者・通年平均)である。

作況指数	8月15日	9月15日	10月15日	収穫期
福井	平年並み	101	101	101
嶺北	平年並み	101	101	101
嶺南	平年並み	101	101	101

作柄概況	1㎡当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1㎡当たり全もみ数	登熟
	やや多い	やや少ない	平年並み	平年並み
福井	穂数は田植期以降、概ね高温多照傾向で推移しやや多くなった。1穂当たりもみ数は穂数がやや多いことによる相反作用によりやや少なかったものの、全もみ数は平年並みとなった。 登熟は出穂期以降、日照時間がやや少なかったものの、気温が平年並みに経過し、開花・受精及び子実の肥大・充実とも順調であったことから平年並みとなり、作柄は作況指数101となった。			

気象図 福井地方気象台(福井観測点)



指標	作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	福井コシヒカリ (60kg当たり)単価
	ha	kg	t	円
福井	25,000	530	132,500	16,145
嶺北	21,400	535	114,500	
嶺南	3,660	499	18,300	

注: 福井コシヒカリの価格は、米の相対取引価格(出荷業者・通年平均)である。

作況指数	8月15日	9月15日	10月15日	収穫期
福井	平年並み	101	101	101
嶺北	平年並み	101	101	101
嶺南	平年並み	100	100	100

作柄概況	1㎡当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1㎡当たり全もみ数	登熟
福井	やや多い	平年並み	やや多い	やや不良
穂数は、田植期以降、概ね高温多照で経過し、分けつが旺盛であったことからやや多くなった。1穂当たりもみ数は、生育が概ね順調で平年並みとなったことから、全もみ数はやや多くなった。 登熟は、8月下旬以降の日照不足と台風第21号や9月の長雨等による倒伏の影響によりやや不良となり、作柄は作況指数101となった。				

3 農林業センサスにおける過去1年間に稲を作った田のある農業経営体数と作付面積規模別割合（福井県）

- 過去1年間に稲を作った田のある農業経営体数は、平成17年～27年の間に41%減少しているものの、作付面積が5ha以上の農業経営体は倍増しています。（図-1）
- 作付面積が5ha以上の農業経営体が占める割合は増加しています。平成27年では5.4%を占めており、全国平均を0.8ポイント上回っています。（図-2）
- 過去1年間に稲を作った田のある農業経営体の作付面積規模別面積割合をみると、平成17年は5ha以上階層が18.8%であったものが、27年では48.5%となっています。特に15ha以上階層の伸びが大きく、3.3倍となっています。（図-3）

図-1 過去1年間に稲を作った田のある農業経営体数の推移（福井県）

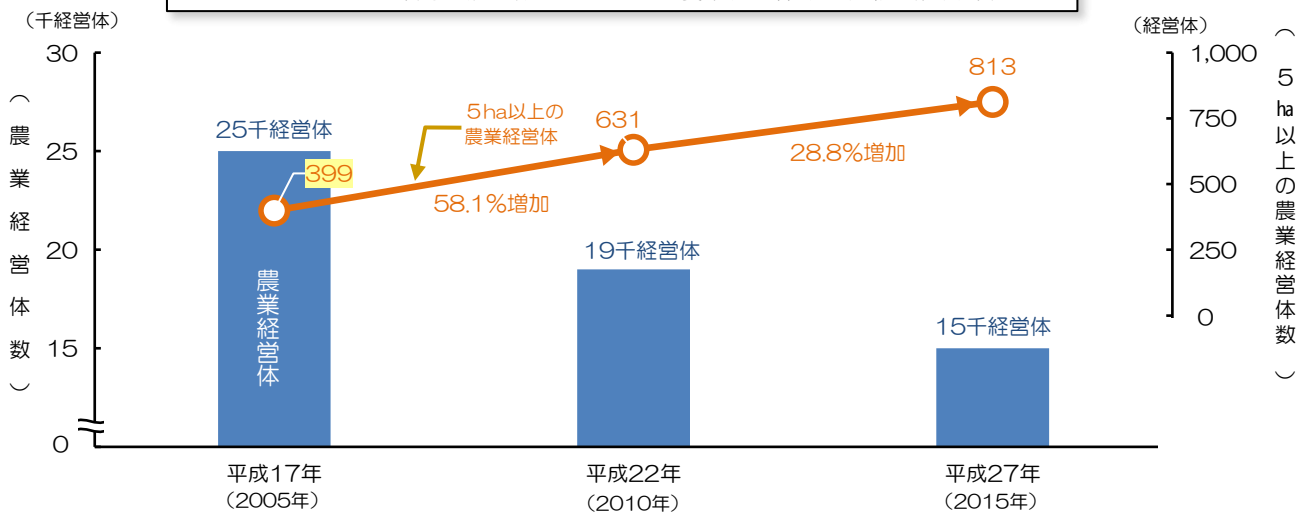


図-2 過去1年間に稲を作った田のある農業経営体のうち作付面積が5ha以上の経営体の割合（福井県）

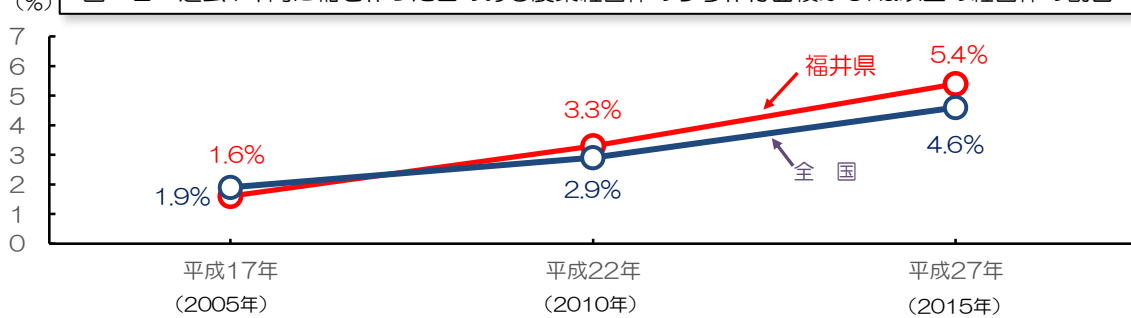
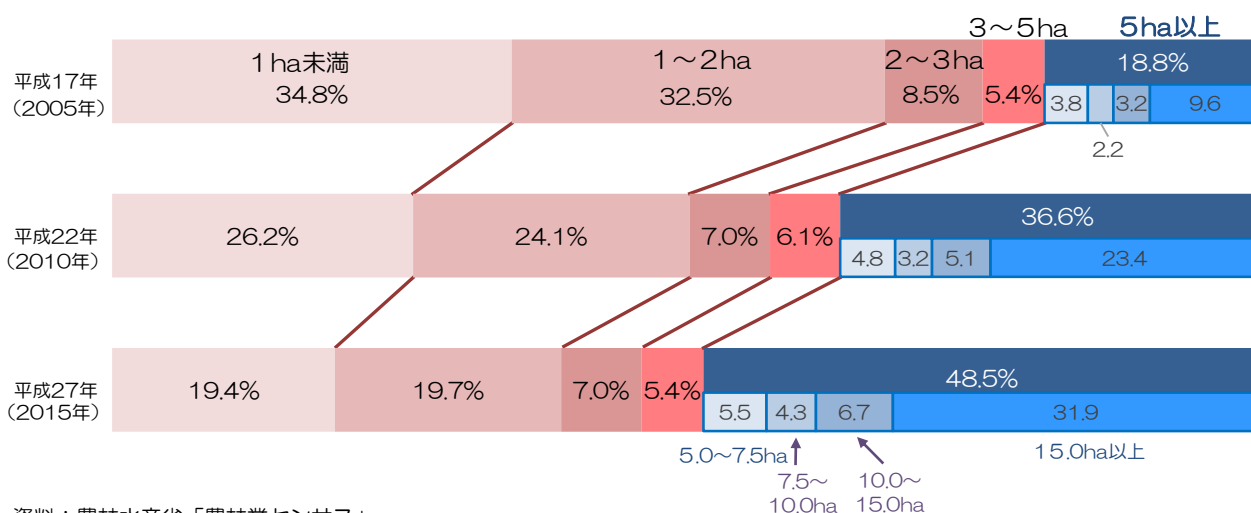


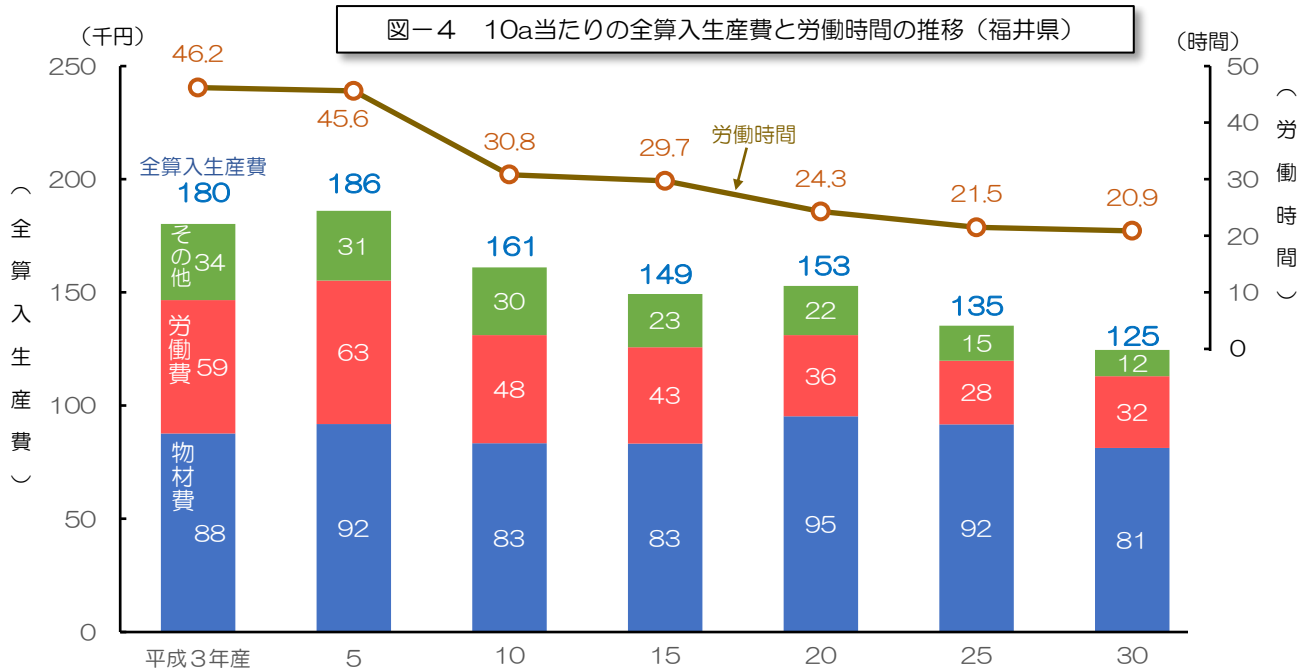
図-3 過去1年間に稲を作った田のある農業経営体の作付面積規模別面積割合（福井県）



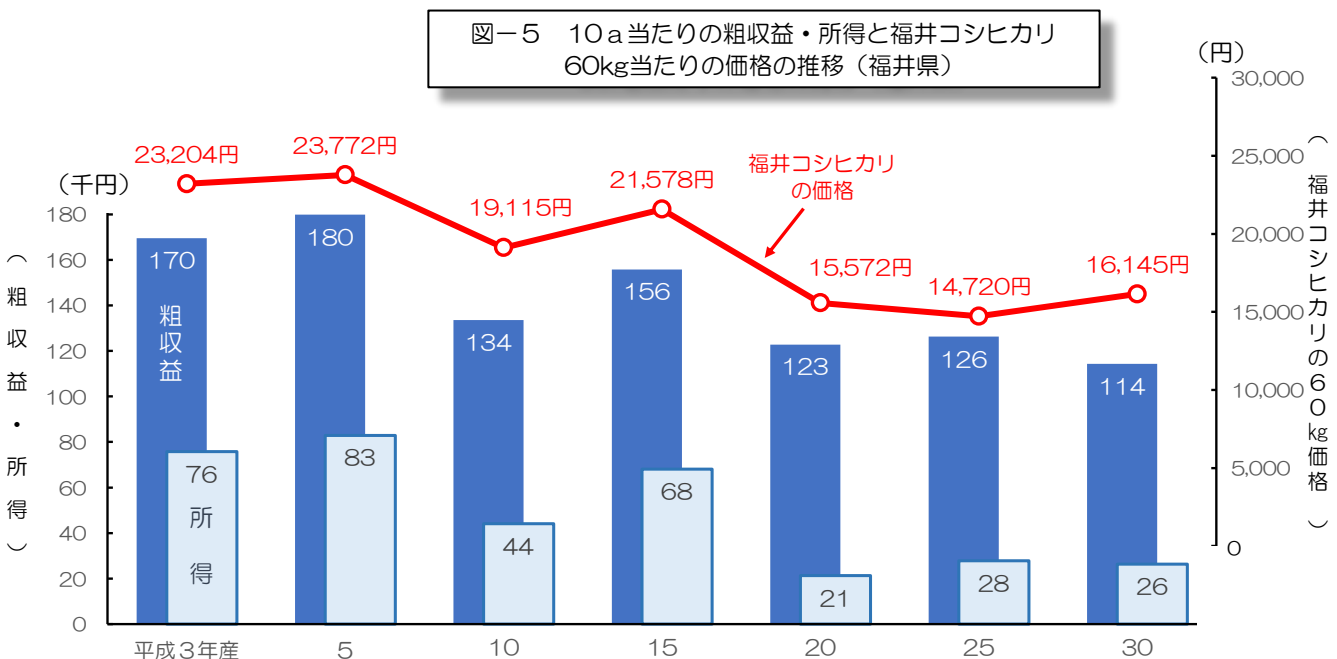
資料：農林水産省「農林業センサス」

4-1 米の経済状況（生産コストと収益）の推移（福井県）

- 米の生産コストである全算入生産費は、平成30年産は12万5千円と、最も高かった5年産の18万6千円から、3割程度減少しています。特に労働費は、効率化が進み労働時間が減少していることから、5年産に比べ49%減少しています。（図-4）
- 粗収益は、平成30年産は11万4千円と、最も高かった平成5年産の18万円から37%減少しています。同様に福井コシヒカリの価格を平成30年産と5年産で比較すると、32%低下しています。（図-5）
- 所得は、平成30年産は2万6千円と、5年産と比較すると約7割程度減少し、収益性は低下しています。（図-5）



資料：農林水産省「農産物生産費統計」



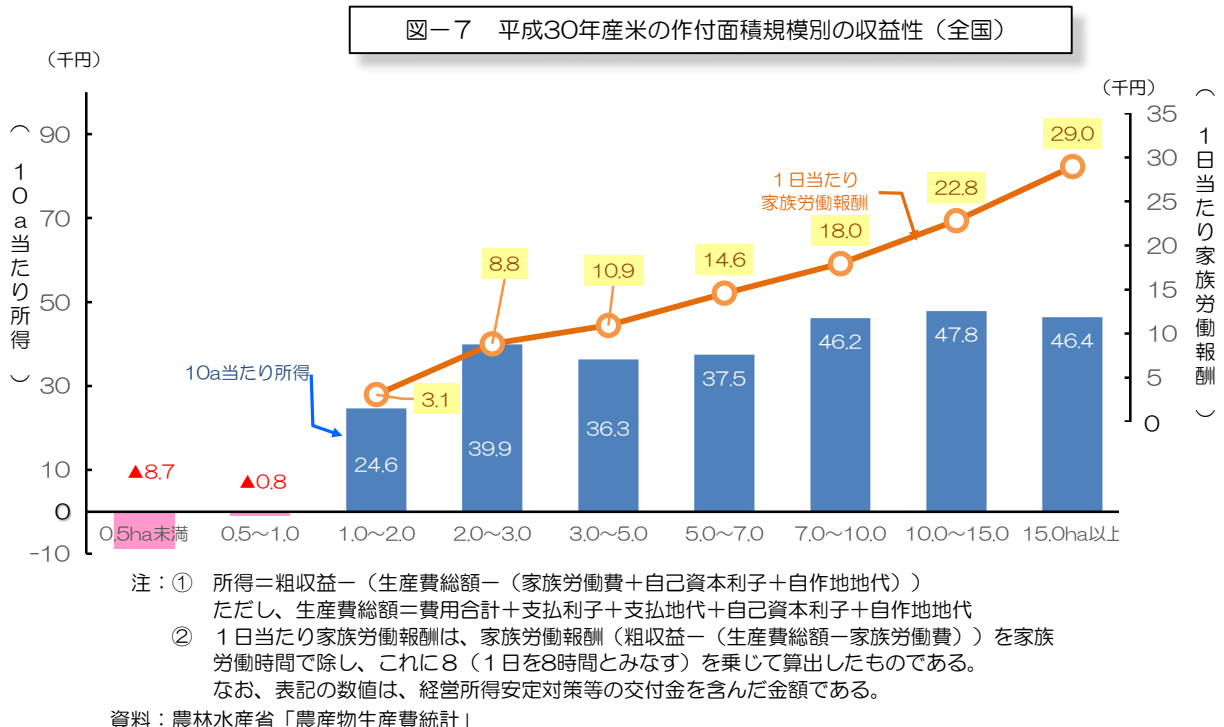
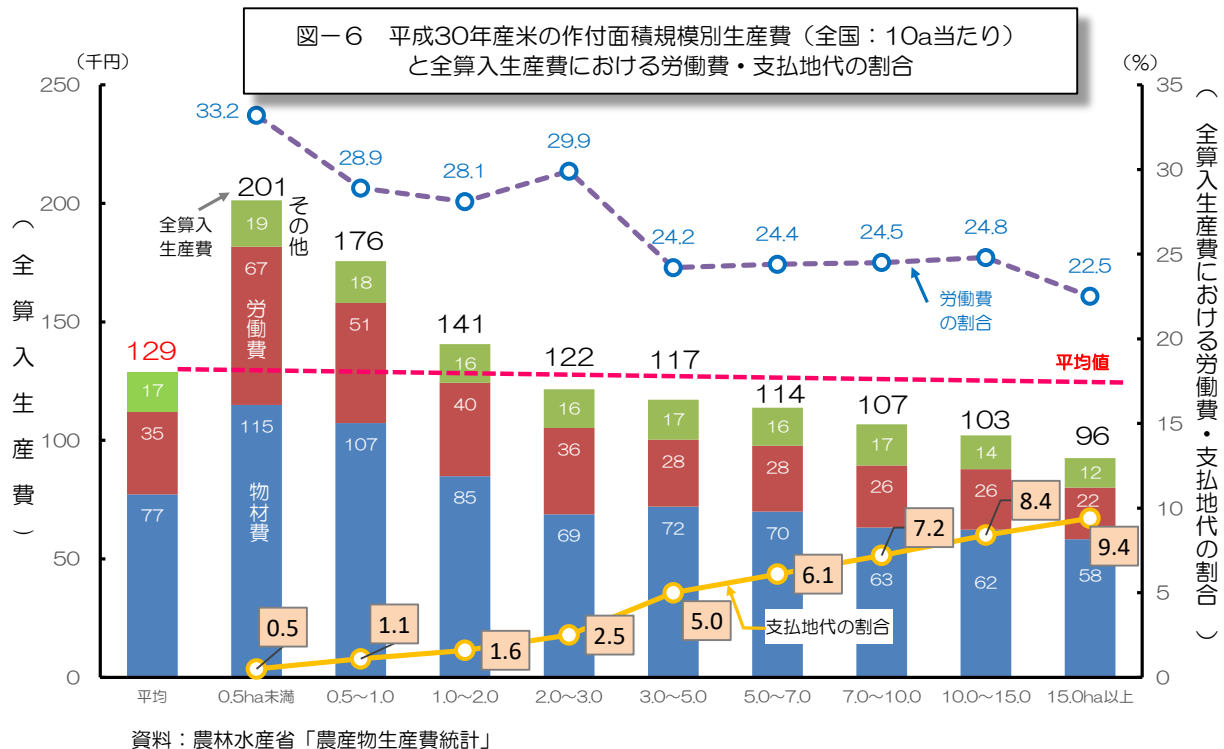
注：① 所得＝粗収益－（生産費総額－（家族労働費＋自己資本利子＋自作地地代））
ただし、生産費総額＝費用合計＋支払利子＋支払地代＋自己資本利子＋自作地地代

② 価格は、福井コシヒカリである。

資料：農林水産省「農産物生産費統計」
農林水産省「米穀の取引に関する報告」

4-2 米の経済状況（作付面積規模別の生産コストと収益）の比較（全国）

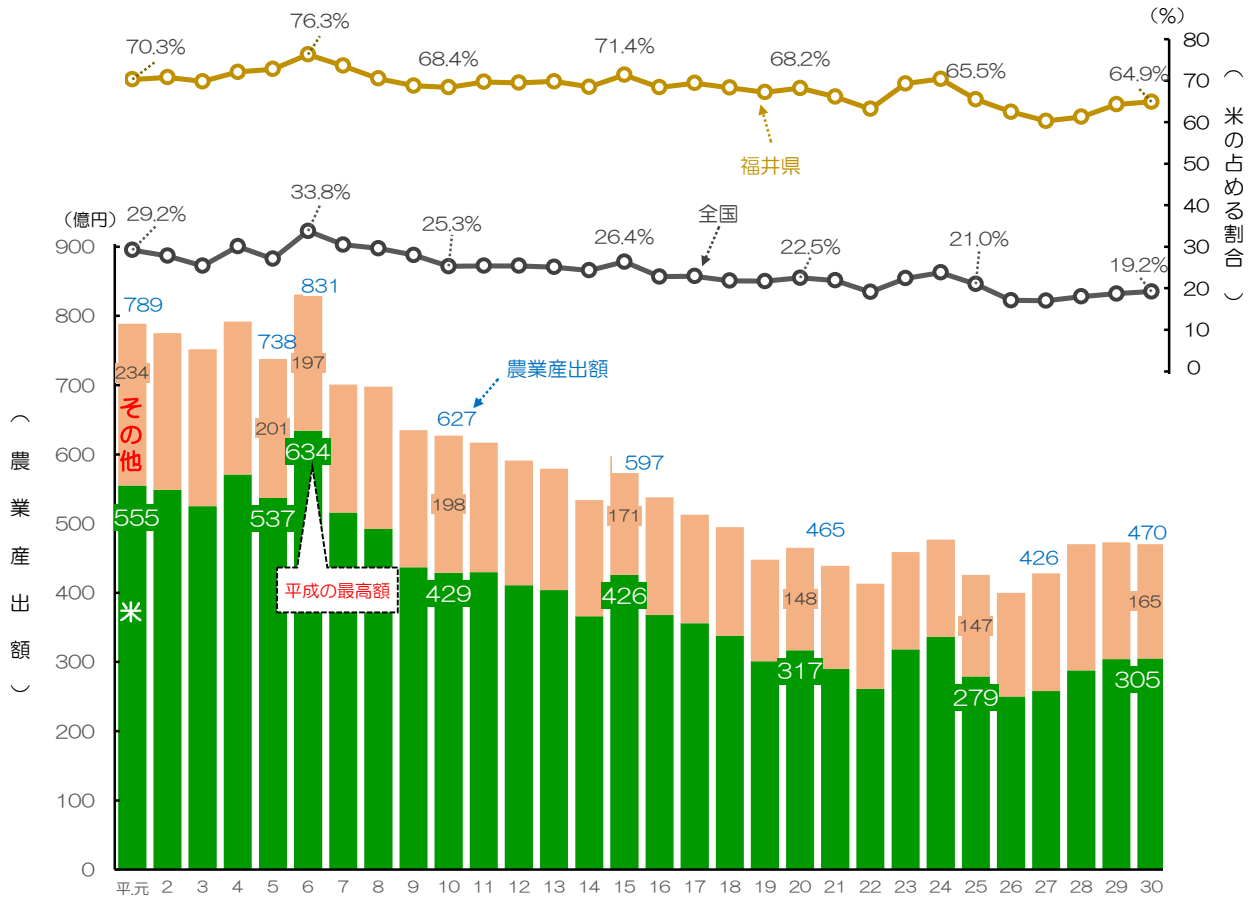
- 全算入生産費を作付面積規模別にみると、規模が大きくなるに従い生産費は減少しており2ha以上の階層においては、生産費は平均を下回っています。（図-6）
- 作付面積規模が大きくなるに従い、支払地代の割合は増加し、3ha以上の階層で大きくなっています。労働費の割合は、3ha未満の階層では30%前後、3ha～15haの階層では24%台、15ha以上の階層では、22%台と小規模階層から大規模階層になるに従い占める割合は小さくなっています。
全算入生産費における労働費と支払地代の割合の合計は、作付面積規模別の各階層において全算入生産費のほぼ3割程度を占めています。（図-6）
- 10a当たりの所得と1日当たりの家族労働報酬は、作付面積規模が拡大するに従い増加しており、規模の大きな階層ほど収益性が向上する傾向にあります。（図-7）



5 米の産出額の推移（福井県）

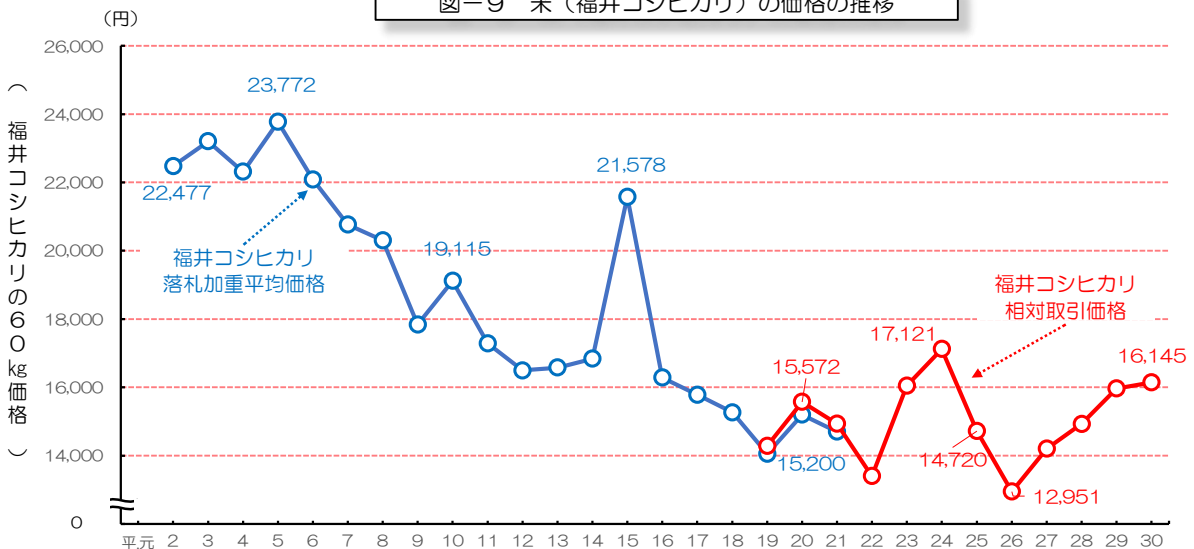
- 平成30年の米の産出額は305億円となり、平成の最高額である平成6年の634億円と比較すると、52%の減少となっています。（図－8）
- 農業産出額に占める米の割合は、平成の初期は7割を超えて推移していましたが、米の価格と連動し、平成30年では64.9%となっています。（図－8、図－9）
- 福井県における農業産出額に占める米の割合は、全国平均に比べ5割程度高く推移しています。（図－8）

図－8 農業産出額の推移（福井県）と農業産出額に占める米の割合（全国・福井県）



資料：農林水産省「生産農業所得統計」

図－9 米（福井コシヒカリ）の価格の推移



資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

